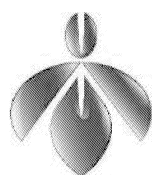


令和8（2026）年度

国際文化研究科ガイド



愛知県立大学
Aichi Prefectural University

目次

学年暦・時間割

・各種提出書類および提出期限	1
・令和8(2026)年度学年暦(長久手キャンパス)	2
・履修登録・時間割に関する注意事項	3
・博士前期課程 国際文化専攻 時間割表	8
・博士前期課程 日本文化専攻 時間割表	10
・博士後期課程 国際文化専攻 時間割表	12
・博士後期課程 日本文化専攻 時間割表	14

履修・学位論文について

(博士前期課程)

・博士前期課程 カリキュラム 国際文化専攻	16
・博士前期課程 カリキュラム 国際文化専攻 英語高度専門職業人コース	19
・博士前期課程 カリキュラム 国際文化専攻 コミュニティ通訳学コース	21
・博士前期課程 カリキュラム 日本文化専攻	26
・国際文化特殊演習、研究グループについて	29
・他大学での学修について	30
・博士前期課程 学位取得までの流れ	31

(博士後期課程)

・博士後期課程 カリキュラム 国際文化専攻	32
・博士後期課程 カリキュラム 日本文化専攻	34
・博士後期課程 学位取得までの流れ	36
・博士後期課程の課程修了と在学について	37
・国際文化研究科教員一覧	38

学生生活

・学務課からのお知らせ	40
・施設の利用について	42

各種提出書類および提出期限 研究指導・修士論文等・博士論文関係

	博士前期		博士後期			備考
	1年	2年	1年	2年	3年	
主・副指導教員(変更)報告書	○	※	○	※	※	※該当者のみ
研究指導計画書	○	○	○	○	○	毎年度5月末に提出 UNIPAにて作成指示あり
研究調査			○	○	○	毎年度3月末に提出 UNIPAにて作成指示あり
3月修了者	■ 題目提出 ・修士論文等の題目届(国際文化) ・修士論文題目届(日本文化)			○		2026年6月1日(月)
	■ 修士論文・特定課題研究成果 中間報告会			○		10月中旬
	■ 題目修正 ・修士論文等の題目届(国際文化) ・修士論文題目届(日本文化)			○		題目修正はやむを得ない場合に限る
	■ 修士論文・特定課題研究成果 提出 ・正本1、複本2 ・修士論文(等)審査出願書 ・学位授与申請書 ・履歴書 ・修士論文等内容要旨			○		2027年1月12日(火)
9月修了者	■ 9月修了願			○		2026年4月27日(月)
	■ 題目提出 ・修士論文等の題目届(国際文化) ・修士論文題目届(日本文化)			○		
	■ 修士論文・特定課題研究成果 中間報告会			○		4月中旬
	■ 修士論文・特定課題研究成果 提出 ・正本1、複本2 ・修士論文(等)審査出願書 ・学位授与申請書 ・履歴書 ・修士論文等内容要旨			○		2026年7月10日(金)
博士学位関連	■ 博士論文 中間報告会				○	10月中旬、または在学中に実施
	■ 博士論文 提出 ・正本1、複本2 ・学位申請書 ・学位論文内容要旨 ・履歴書 ・論文目録				○	学位申請期間 2026年7月10日(金)～7月31日(金) 2027年3月10日(水)～3月31日(水)
その他						
休学願・復学願・退学願	原則として、学生異動を希望する時期の1か月前までに提出。 指導教員の意見書を添付すること。様式はUNIPAより入手すること。					
長期履修申請・変更申請	新規・延長:毎年度1月末まで、短縮:毎年度8月末まで 申請時期は別途掲示する。様式はUNIPAより入手すること。					

2026年度 学 年 暦(長久手キャンパス)

		前 期							備 考	
		日	月	火	水	木	金	土		
4	月								2~8 学生定期健康診断 3 入学式、新入生全学履修ガイダンス 3~8 新入生全学履修ガイダンス 新入生・在学生ガイダンス 新入生学生生活ガイダンス、個別履修相談	
		5	6	7	8	1	2	3	4	6 履修登録開始 9 前期開講 15 履修登録期限
		12	13	14	15	16	17	18		15 [学部3年、修士1年]キャリアガイダンス 21, 22 履修登録確認・修正期間
		19	20	21	22	23	24	25		27 (国際文化・人間発達)9月期修了論文題目届提出期限 29 特別開講日
		26	27	28	29	30				29 特別開講日
5	月								1 開学記念日	
		3	4	5	6	7	8	9	6 特別開講日 8 [外・日文・教福・情報・情報院] 9月期卒業・修了希望届提出期限	
		10	11	12	13	14	15	16		20~26 前期履修登録取消期間
		17	18	19	20	21	22	23		
		24	25	26	27	28	29	30		
6	月								1 [国際文化・人間発達] 修士論文題目届提出期限 13 看護学部祭(守山キャンパス)	
		7	8	9	10	11	12	13		
		14	15	16	17	18	19	20		
		21	22	23	24	25	26	27		22 [日文・教福] 9月期卒業予定者論文提出期限
		28	29	30						
7	月								7 [人間発達] 9月期修了予定者 修士論文提出期限 10 [外・国際文化] 9月期卒業・修了予定者 論文提出期限	
		5	6	7	8	9	10	11	18, 25 補講日 20 特別開講日	
		12	13	14	15	16	17	18		20~31 集中講義履修登録取消期間
		19	20	21	22	23	24	25		29~8/4 前期試験期間 31 [情報]卒業研究Ⅰ研究報告書提出期限
		26	27	28	29	30	31			
8	月								1	
		2	3	4	5	6	7	8	5 全学FD研究会、試験の予備日 6,7 オープンキャンパス 12, 13, 14 全学休暇	
		9	10	11	12	13	14	15		20 成績登録期限(教員)
		16	17	18	19	20	21	22		
		23	24	25	26	27	28	29		
9	月								1 前期成績発表(通常授業) 1~30 前期集中講義期間 4 9月卒業生・修了者発表	
		6	7	8	9	10	11	12		
		13	14	15	16	17	18	19		
		20	21	22	23	24	25	26		25 履修登録開始
		27	28	29	30					30 9月卒業式・修了式

		後 期							備 考	
		日	月	火	水	木	金	土		
10	月								1 成績登録期限(前期集中講義)(教員) 2 後期開講 2 [看護以外]学生定期健康診断 8 履修登録期限	
		4	5	6	7	8	9	10	12 特別開講日 13 前期成績発表(集中講義) 14, 15 履修登録確認・修正期間	
		11	12	13	14	15	16	17		
		18	19	20	21	22	23	24		
		25	26	27	28	29	30	31		30 大学祭準備(休講) 31 大学祭
11	月								1 大学祭 2 大学祭片付け 3 特別開講日 5 [看護]初期体験看護実習 6 [外]卒業論文題目届提出期限 8 80周年記念事業開催日 10~16 後期履修登録取消期間	
		1	2	3	4	5	6	7	23 特別開講日	
		8	9	10	11	12	13	14		
		15	16	17	18	19	20	21		
		22	23	24	25	26	27	28		
12	月								4 [情報院]修士論文題目届提出期限 11 [情報]卒業論文題目届提出期限	
		6	7	8	9	10	11	12	21 [日文・教福]卒業論文提出期限	
		13	14	15	16	17	18	19		
		20	21	22	23	24	25	26		
		27	28	29	30	31				
1	月								4 授業再開 6,13 英語統一テスト 12 [情報]卒業論文提出期限 12 [国際文化・人間発達・情報院] 修士論文提出期限 13 [外]卒業論文提出期限 15 大学入学共通テスト準備日(休講) 16, 17 大学入学共通テスト 18~22 集中講義履修登録取消期間 26~28 補講日	
		3	4	5	6	7	8	9		
		10	11	12	13	14	15	16		
		17	18	19	20	21	22	23		
		24	25	26	27	28	29	30		
2	月								1~5 後期試験期間 8~12 [看護]初期体験看護実習 8~15 後期集中講義期間 11 特別開講日(集中講義) 15 成績登録期限(教員) 19 後期成績発表(通常授業・集中講義)	
		1	2	3	4	5	6			
		7	8	9	10	11	12	13		
		14	15	16	17	18	19	20		
		21	22	23	24	25	26	27		
3	月								5 卒業生・修了者発表	
		1	2	3	4	5	6			
		7	8	9	10	11	12	13		
		14	15	16	17	18	19	20		
		21	22	23	24	25	26	27		21 卒業式・修了式

開講日	試験日
特別開講日	集中講義
補講日、試験の予備日	全学休暇
閉講日	祝日

前期：2026年 4月 1日(水)～2026年 9月30日(水)
後期：2026年10月 1日(木)～2027年 3月31日(水)

・看護学部1年生の後期火・木の授業は守山キャンパスで開講
・小学校教育職員養成課程関連科目の一部は6時限に開講

1時限	8:50~10:20	(6時限)	17:50~19:20
2時限	10:30~12:00	(7時限)	19:30~21:00
3時限	12:50~14:20		
4時限	14:30~16:00		
5時限	16:10~17:40		

履修登録・時間割に関する注意事項

1 履修登録・修正・取消について

(1) 履修登録

入学年度の『学生便覧』の履修規程をよく確認してください。

履修登録期間中に、教育支援システムポータルサイト UNIVERSAL PASSPORT(通称:UNIPAユニパ)により、履修登録を行ってください。前期の履修登録期間中に、後期の授業科目を含めた全授業科目の履修登録を行ってください。

履修登録期間内に履修登録を行わず、履修登録できなかった授業科目の単位は、認定されません。

履修登録方法については、「UNIVERSAL PASSPORT 操作マニュアル」を参照してください。

下表の科目の履修については、UNIPA では登録できませんので、該当する様式を学務課窓口で入手、または UNIPA「各種様式」でダウンロードし、記入・押印(サインも可)のうえ、履修登録期間内に学務課に提出してください。

博士前期課程 (両専攻)	① 他研究科(人間発達学研究科、看護学研究科)設置科目(注:実習を除く。通年開講科目の半期単位認定は不可) →「他研究科履修確認表」 ※履修にあたっては6ページの「(3)他研究科科目の履修について」および「他研究科履修確認表」の裏面を確認のこと。 ② 学部設置科目(注:修了単位に含まない。年間20単位まで履修可。) →「学部履修確認表」 ③ 特別研究科目(2年次において、各自の指導教員の担当する授業科目が対象) →「【特別研究科目】履修登録願」
博士後期課程 国際文化専攻	① 前期課程設置科目(注:修了単位に含まない。年間4単位、修了までに12単位まで履修可。) →「(国際)前期課程科目履修確認表」 ② 研究特講科目 【2021年度以降入学生】 研究特講Ⅱ(2,3年次において各自の指導教員の担当する授業科目が対象) →「(国際)【研究特講Ⅱ】履修登録願」 【2020年度以前入学生】 研究特講Ⅰ(2年次において各自の指導教員の担当する授業科目が対象) 研究特講Ⅱ(2,3年次において各自の指導教員の担当する授業科目が対象) →「(国際)【研究特講Ⅱ】履修登録願」

博士後期課程 日本文化専攻	① 前期課程設置科目(注:修了単位に含まない。年間4単位、修了までに12単位まで) →「(日文)前期課程科目履修確認表」 ② 研究特講科目 【2023年度以降入学生】 「〇〇研究特講Ⅱ」 (2,3年次において各自の指導教員の担当する授業科目が対象) →「(日文)【研究特講Ⅱ】履修登録願」 【2022年度以前入学生】 「〇〇研究特講」 (2,3年次において各自の指導教員の担当する授業科目が対象) →「(日文)【研究特講Ⅱ】履修登録願」
------------------	--

名古屋市立大学大学院との単位互換制度については、30 ページを参照してください。

(2) 履修修正・取り消しについて

「履修登録確認・修正期間」後、諸事情により当該授業科目を履修する意思がなくなった場合は、履修取消期間に『履修取消願』を学務課へ提出してください。履修登録をしたにもかかわらず、定期試験を受験しなかった場合やレポートを提出しなかった場合は、成績評価が『D』となります。

履修取消期間を経過した後、病気その他やむを得ない事由によって長期欠席が続いた場合は、学務課で履修を取り消すことができます。必ずご相談ください。

【前期】

区 分		期 間	履修登録等の方法
履修登録期間		4月 6日(月) } 4月15日(水)	UNIVERSAL PASSPORT により WEB 上で行う。
履修登録確認・修正期間		4月21日(火) 4月22日(水)	
履修取消期間	週間授業	5月20日(水) } 5月26日(火)	UNIVERSAL PASSPORT アンケート機能により申請する。 または、「履修取消願」を学務課へ提出する。
	集中講義	7月20日(月) } 7月 31日(金)	

【後期】

区 分		期 間	履修登録等の方法
履修登録期間		9月 25日(金) } 10月 8日(木)	UNIVERSAL PASSPORT により WEB 上で行う。
履修登録確認・修正期間		10月 14日(水) 10月 15日(木)	

履修取消期間	週間授業	11月10日(火)) 11月16日(月)	UNIVERSAL PASSPORT アンケート機能により申請する。 または、「履修取消願」を学務課へ提出する。
	集中講義	1月18日(月)) 1月22日(金)	

2 時間割の変更等

開講時限、教授者、教室等が変更になることがありますので、受講に際してはポータルサイト (UNIVERSAL PASSPORT) の掲示情報を常に確認してください。

3 時間割の見方

(1) 授業科目名

原則として、履修規程(入学年度の学生便覧を確認すること)の別表に記載されている授業科目が履修可能です。授業科目の中には、入学年度によって授業科目名が異なる科目があります。

(2) 単位数

2	半期ごとに単位認定を行う科目(ただし、「国際文化特殊演習」は半期1単位)
4	通年ごとに単位認定を行う科目 ※セメスター制(半期で4単位認定)で行われる科目もあります。

4 履修上の注意

(1) 特別研究・研究特講について(国際文化専攻)

・博士前期課程

主指導教員・副指導教員(以下指導教員)が担当する科目の設置単位をすべて修得した(指導教員以外の教員が担当する同一名の科目を履修した場合を含む)2年生以上の学生が、指導教員の担当する科目をさらに履修することを希望する場合は、「特別研究」として履修登録を行います。

【例】A教員(担当科目「現代英語学研究」設置4単位)が主指導教員の場合

1年次に「現代英語学研究」を2単位履修した。2年次にA教員が担当する「現代英語学研究」と併せて、B教員が開講している別クラスの「現代英語学研究」を履修したい(両クラスの内容が異なるため)。→この場合は、B教員が担当するクラスを「現代英語学研究」として履修し、A教員の担当クラスは「言語特別研究」として履修登録する。

・博士後期課程

2021年度以降入学生

1年次は「研究特講Ⅰ」、2・3年次は「研究特講Ⅱ」を履修してください。「研究特講Ⅱ」を履修できるのは指導教員の担当クラスのみです。指導教員以外のクラスまたは科目を履修する場合は、設置単位内で「研究特講Ⅰ」を履修してください。

(2)特別研究・研究特講について(日本文化専攻)

・博士前期課程

2024年度以降入学生

主指導教員・副指導教員(以下指導教員)が担当する科目の設置単位をすべて修得した(指導教員以外の教員が担当する同一名の科目を履修した場合を含む)2年生以上の学生が、指導教員の担当する科目をさらに履修することを希望する場合は、「特別研究」として履修登録を行います。

【例】A教員(担当科目「比較考古学研究」設置4単位)が主指導教員の場合

1年次に「比較考古学研究」を2単位履修した。2年次にA教員が担当する「比較考古学研究」と併せて、B教員が開講している別クラスの「比較考古学研究」を履修したい(両クラスの内容が異なるため)。→この場合は、B教員が担当するクラスを「比較考古学研究」として履修し、A教員の担当クラスは「歴史文化特別研究」として履修登録する。

・博士後期課程

2023年度以降入学生

1年生次は「研究特講Ⅰ」、2・3年生次は「研究特講Ⅱ」を履修してください。「研究特講Ⅱ」を履修できるのは指導教員の担当クラスのみです。指導教員以外のクラスまたは科目を履修する場合は、設置単位内で「研究特講Ⅰ」を履修してください。

(3)他研究科科目の履修について(両専攻とも)

他研究科科目を履修できるのは、博士前期課程の学生のみです。対象科目は、2026年4月1日時点では次のとおりです。

・人間発達学研究科の実習を除く科目

・看護学研究科の開設科目のうち、コミュニティ通訳学コースのカリキュラムに記載されている科目(ただし、2021年度以前の入学者は履修できません)

他研究科履修を行った学生に対する国際文化研究科の授業科目への単位読替えは、合計8単位を限度とし、原則的に「国際文化特殊研究」として認定します。

(4)前期課程設置科目の履修について(両専攻とも)

博士後期課程の学生は、各専攻博士前期課程の設置科目を履修できます。年間4単位まで、修了までに12単位まで。ただし、修了単位には含みません。

2026年度 国際文化研究科 博士前期課程 国際文化専攻 時間割表

(研究分野 ○言語 ◎文学文化 ◇国際社会 △地域社会 ■関連)

月曜日						
分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード	
1限						
2限						
3限	◇国際関係論研究	2	竹内 徹	E514	1Z11103301	
4限						
5限						
6限	○言語学・諸言語研究 ■多文化共生論	2 2	系川 美樹 高坂 香津美	オンライン オンライン	1Z11100801 1Z10002101	
7限	◎中国文学・文化研究 △中南米・新興国地域研究	2 2	川尻 文彦 小池 康弘	オンライン オンライン	1Z11101901 1Z11104401	

【同名科目の授業】
同名科目は、設置単位(カリキュラム表に記載の単位数)を超えないよう履修してください。

【コミュニケーション通訳研究】

「コミュニケーション通訳研究」は、原則として前期・後期を通じて履修する科目です。(後期のみの履修は認められません。)

【国際文化特殊演習】

「国際文化特殊演習」は、複数教員により月2回程度実施されます。日程など詳細については、学期開始後に案内します。

火曜日						
分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード	
1限						
2限	国際文化研究基礎 △比較地域研究	2 2	竹中・福岡・齋藤・張 谷口 智子	H304 E606	1Z10020101 1Z11104601	
3限	◎アメリカ文学・文化研究	2	青木 耕平	E707	1Z11101701	
4限						
5限						
6限	○歴史英語学研究 ◎中国語学研究 ◎諸地域文学・文化研究 ■日本語教育学研究	2 2 2 2	石原 寛 高 暁今 田邊 まどか 千葉 月香	オンライン オンライン	1Z11100301 1Z11100501 1Z11102101 1Z10003101	
7限	◇英米政治経済研究 国際文化特殊演習C 国際文化特殊演習C	2 1 1	奥田 泰広 クラマー スベン クラマー スベン	オンライン オンライン	1Z11102801 1Z10010201 1Z10010202	

【特別研究】(2年次以降対象科目)

特別研究科目を履修する場合は、指導教員に相談の上、
「特別研究科目 履修登録願」を履修登録期間中に学務課に提出してください。UNIPAから履修登録はできません。開講時間は、指導教員と院生の話し合いで変更となる場合があります。

【国際文化研究(研究指導)】

研究指導は在学2年間にわたり計4単位必要ですが、その単位は修士論文提出後、成績評価で合格かついた時点で付与されます。
1年次の前期登録期間に必ず履修登録してください。
2年次に修士論文を提出しない場合は、次年度の前期登録期間に「履修登録票」の提出により、あらためて履修登録をしてください。

水曜日						
分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード	
1限						
2限	◎翻訳演習(英・日) △アジア歴史社会研究	2 2	梶原 克教 高柳 峻秀	G814 E616	1Z11102401 1Z11104201	
3限						
4限						
5限						
6限	○国際文化研究基礎 ◎コミュニケーション通訳研究 △文化人類学研究 ■文化理論研究	2 2 2 2	中・山本・三浦・バスターフ 吉田 理加 亀井 伸孝 梶原 克教	オンライン オンライン	1Z10020102 1Z11200201 1Z11104801 1Z10020201	
7限	○コミュニケーション通訳演習(スペイン語) ◎コミュニケーション通訳演習(ベトナム語)	2 2	吉田 理加 クエン タン タム	オンライン オンライン	1Z11200101 1Z11200102	

【※印の科目】

※印の付いた以下の科目は、2026年度以降入学生のみ履修可能です。
「会議通訳演習※」
「学外連携プロジェクト型研修※」

【2026年度非開講科目】

以下の科目は今年度非開講です。
「国際文化特殊演習d」
「国際文化特殊演習e」
「コミュニケーション通訳演習(全言語)」
「司法・医療通訳論※」

木曜日						
分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード	
1限						
2限	◇ヨーロッパ政治経済研究	前期 2	今野 元	E814	1Z11102901	
3限	△英米歴史社会研究	後期 2	佐藤 雅哉	E505	1Z11103801	
	○英語教育学研究	後期 2	池田 周	G911	1Z11100401	
	○言語学・諸言語研究	前期 2	岸本 聖子	E806	1Z11100701	
4限						
5限						
6限	○コミュニケーション通訳研究	後期 2	吉田 理加	オンライン	1Z11200301	
	◇中国政治経済研究	前期 2	町田 花里奈		1Z11103101	
7限	国際文化特殊演習b	前期 1	東 弘子	オンライン	1Z10010101	
	国際文化特殊演習b	後期 1	東 弘子		1Z10010102	

授業時間	
1時限	8:50~10:20
2時限	10:30~12:00
3時限	2:50~4:20
4時限	4:30~6:00
5時限	6:10~7:40
6時限	7:50~9:20
7時限	19:30~21:00

金曜日						
分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード	
1限						
2限						
3限	○現代英語学研究	後期 2	熊谷 吉治	G913	1Z11100101	
	△ヨーロッパ歴史社会研究	前期 2	伊藤 滋夫	E911	1Z11103901	
4限	国際文化特殊演習a	前期 1	柴田・服部	H306	1Z10010001	
	国際文化特殊演習a	後期 1	柴田・服部	H306	1Z10010002	
5限	◎イギリス文学・文化研究	後期 2	三原 穂	E703	1Z11101601	
6限	○英語表現演習	後期 2	○木下 薫		1Z11101201	
	△英米歴史社会研究	前期 2	福岡 千珠	オンライン	1Z11103701	
	■国際コミュニケーション(スペイン語)	前期 2	リディア サラ		1Z11200601	
	■公益通訳と社会資源	後期 2	吉田 理加		1Z11200401	
7限	■国際コミュニケーション(英語)	後期 2	○木下 薫	オンライン	1Z10020401	

○言語特別研究	前期 2					
◎文学文化特別研究	前期 2					
◇国際社会特別研究	前期 2					
△地域社会特別研究	前期 2					
○言語特別研究	後期 2					
◎文学文化特別研究	後期 2					
◇国際社会特別研究	後期 2					
△地域社会特別研究	後期 2					

(各指導教員)

※学務課で履修登録・前ページ下部【特別研究】を要確認。

土曜日						
分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード	
1限						
2限						
3限	■多言語多文化実務論	前期 2	グエン・小池	サテライト	1Z11200501	
	■多言語多文化実務論	後期 2	吉田 理加		1Z11200601	
4限	■多言語多文化実務論	前期 -	グエン・小池	サテライト	-	
	■多言語多文化実務論	後期 -	吉田 理加		-	

〈研究指導科目〉

対象学年	授業科目	単位	担当教員	授業コード
1	国際文化研究(研究指導)	通年 4	研究科長/ 副研究科長	1Z11060003 1Z11060001
2				

注1:対象学年1=2027年度修了予定者、対象学年2=2026年度修了予定
注2:〔国際文化研究(研究指導)〕を要確認。

〈集中講義〉

分野	授業科目	単位	担当教員	授業コード
○	会議通訳演習※	後期 2	○小島 佳美	1Z11202701

〈実務実習科目〉実施日程は別途指示

分野	授業科目	単位	担当教員	授業コード
■	学外連携プロジェクト型研修 a※	通年 1	クエン タン タム	1Z10008001
■	学外連携プロジェクト型研修 b※	通年 1	クエン タン タム	1Z10008002
■	コミュニケーション通訳実習	通年 2	クエン・小池	1Z11200701

○は非常勤講師

通年… 通年開講
前期… 前期開講
後期… 後期開講

2026年度 国際文化研究科 博士前期課程 日本文化専攻 時間割表

(研究分野 ○言語 ◎文学思想 ◇歴史文化 △地域文化 ■関連)

月曜日							火曜日							水曜日								
時限	分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード	時限	分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード	時限	分野	授業科目名	単位	教授者	教室	授業コード		
1	限						1	限						1	限							
2	限	○日本語表現研究	2	○平塚 雄亮	G703	IZ13200601	2	限	国際文化研究基礎	2	竹中、福岡、宮崎、張	H304	IZ10020101	2	限	△現代社会研究	2	井戸 聡	G707	IZ13203501		
		◇比較文化史研究	2	丸山 裕美子	G710	IZ13203101																
		◇比較文化史研究	2	丸山 裕美子	G710	IZ13203201																
3	限	◇比較考古学研究	2	内記 理	G706	IZ13202501																
4	限	◎日本古代文学研究	2	本橋 裕美	G810	IZ13200901	4	限	○日本語文法研究	2	福沢 将樹	G804	IZ13200301									
		◎日本古代文学研究	2	本橋 裕美	G810	IZ13201001			○日本語文法研究	2	福沢 将樹	G804	IZ13200401									
									△人文地理学研究	2	柴田 陽一	G604	IZ13203701									
									△人文地理学研究	2	柴田 陽一	G604	IZ13203801									
5	限						5	限	◎日本中世文学研究(韻文・思想)	2	伊藤 伸江	G805	IZ13201101									
									◎日本中世文学研究(韻文・思想)	2	伊藤 伸江	G805	IZ13201201									
									◇前近代歴史社会研究	2	野口 朋隆	G709	IZ13202701									
									◇前近代歴史社会研究	2	野口 朋隆	G709	IZ13202801									
6	限	○日本語音韻・表記研究	2	大川 孔明	IZ13200101		6	限	△比較法政治研究	2	イスマイトフ アジス	オランダ	IZ13204101									
		○日本語音韻・表記研究	2	大川 孔明	オランダ	IZ13200201			■日本語教育学研究	2	千葉 月香		IZ10003101									
		■多文化共生論	2	高阪 香津美		IZ10002101																
7	限						7	限	国際文化特殊演習C	1	クラマー マー スベン	オランダ	IZ10010201									
									国際文化特殊演習C	1	クラマー マー スベン	オランダ	IZ10010202									

授業時間	
1時限	8:50~10:20
2時限	10:30~12:00
3時限	12:50~14:20
4時限	14:30~16:00
5時限	16:10~17:40
6時限	17:50~19:20
7時限	19:30~21:00

【2026年度非開講科目】
 以下の科目は今年度非開講です。
 「国際文化特殊演習d」
 「国際文化特殊演習e」

○は非常勤講師
 通年… 通年開講
 前期… 前期開講
 後期… 後期開講

木曜日						
分野	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限	◎ 日本近代文学研究	前期	2	若松 伸哉	G808	IZ13201701
	◎ 日本近代文学研究	後期	2	若松 伸哉	G808	IZ13201801
	◇ 近現代歴史社会研究	前期	2	クラマー スベン	G708	IZ13202901
3限	◎ 日本近世文学研究	前期	2	李 澤珍	G811	IZ13201501
	◎ 日本近世文学研究	後期	2	李 澤珍	G811	IZ13201601
4限						
5限						
6限	◎ 日本中世文学研究(散文・伝承)	前期	2	中根 千絵		IZ13201301
	◎ 日本中世文学研究(散文・伝承)	後期	2	中根 千絵	オンライ	IZ13201401
	△ 歴史地理学研究	前期	2	服部 垂由未		IZ13203901
	△ 歴史地理学研究	後期	2	服部 垂由未		IZ13204001
	(旧:日本地域史研究 I)	前期	2	服部 垂由未	オンライ	IZ13076201
	(旧:日本地域史研究 II)	後期	2	服部 垂由未	オンライ	IZ13076301
7限	国際文化特殊演習b	前期	1	東 弘子		IZ10010101
	国際文化特殊演習b	後期	1	東 弘子		IZ10010102

〈特別研究(科目)〉

◎ 言語特別研究	前期	2			
◎ 文学思想特別研究	前期	2			
◇ 歴史文化特別研究	前期	2			
△ 地域文化特別研究	前期	2			
◎ 言語特別研究	後期	2			
◎ 文学思想特別研究	後期	2			
◇ 歴史文化特別研究	後期	2			
△ 地域文化特別研究	後期	2			

(各指導教員)

学務課で履修登録。右記【特別研究】を要確認。

金曜日						
分野	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限	◎ 漢文学研究(文学・思想・史学)	前期	2	洲脇 武志	G813	IZ13202101
	◎ 漢文学研究(文学・思想・史学)	後期	2	洲脇 武志	G813	IZ13202201
	△ 比較文化研究	前期	2	斎藤 慶子	G702	IZ13204301
	△ 比較文化研究	後期	2	斎藤 慶子	G702	IZ13204401
3限						
4限	国際文化特殊演習a	前期	1	柴田・服部	H306	IZ10010001
	国際文化特殊演習a	後期	1	柴田・服部	H306	IZ10010002
5限						
6限	◎ 日本近現代文学研究	前期	2	宮崎 真素美		IZ13201901
	◎ 日本近現代文学研究	後期	2	宮崎 真素美	オンライ	IZ13202001
	■ 国際コミュニケーション(スペイン語)	前期	2	リディア サラ		IZ11200601
	■ 公益通訳と社会資源	後期	2	吉田 理加		IZ11200401
7限	■ 国際コミュニケーション(英語)	後期	2	木下 薫	オンライ	IZ10020401

〈研究指導科目〉

対象学年	授業科目	開講時期	単位	担当教員	授業コード
1	日本文化研究(研究指導)	通年	4	研究科長/副研究科長	IZ13060003
2					IZ13060001

注1:対象学年1=2027年度修了予定者、対象学年2=2026年度修了予定者
注2:右記【日本文化研究(研究指導)】を要確認。

土曜日						
分野	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限						
3限	■ 多言語多文化実務論	前期	2	グエン・小池	オンライ	IZ11200501
	■ 多言語多文化実務論	後期	2	吉田 理加		IZ11200601
4限	■ 多言語多文化実務論	前期	-	グエン・小池	オンライ	-
	■ 多言語多文化実務論	後期	-	吉田 理加		-

【同名科目の授業】

以下の同名科目は、いずれか1科目のみ履修可。
「国際文化研究基礎」 前期火2/水6

【国際文化特殊演習】

「国際文化特殊演習」は、複数教員により月2回程実施されます。日程など詳細については、学期開始後に案内します。

【特別研究】(2年次以降対象科目)

特別研究科目を履修する場合は、指導教員に相談の上、日本文化専攻「特別研究科目履修登録願」を履修登録期間中に学務課に提出してください。UNIPAから履修登録はできません。開講制限は、指導教員と院生の話し合いで変更となる場合があります。

【日本文化研究(研究指導)】

研究指導は在学2年間にわたり計4単位必要ですが、その単位は修士論文提出後、成績評価で合格がついた時点で付与されます。1年次の前期登録期間に必ず履修登録してください。長期履修生や休学等の理由で2年次に修士論文を提出しない場合は、次年度の前期登録期間に「履修登録票」を提出し、あらためて履修登録をしてください。

2026年度 国際文化研究科 博士後期課程 国際文化専攻 時間割表

月曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

火曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限						
3限	社会文化研究特講I	前期	4	今野 元	E814	1Z12040201
4限	社会文化研究特講I	通年	4	竹中 勇行	E808	1Z12040001
5限						
6限						
7限	言語文化研究特講I (信:中国文学研究特講)	通年	4	川原 文彦	杉野分	1Z12030001
		通年	4	川原 文彦	杉野分	1Z12004101

水曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

木曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限						
3限	社会文化研究特講I	後期	-	今野 元	E814	1Z12040201
4限						
5限						
6限	言語文化研究特講I	通年	4	池田 周	杉野分	1Z12030101
7限						

金曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限	社会文化研究特講I (信:人類学研究特講)	通年	4	亀井 伸孝	E516	1Z12040101
2限						
3限	言語文化研究特講I	通年	4	森田 久司	E808	1Z12030201
4限						
5限						
6限						
7限						

言語文化研究特講II	通年	4	(各指授教員)	1Z12035001
社会文化研究特講II	通年	4	(各指授教員)	1Z12045001

授業時間	
1時限	8:50~10:20
2時限	10:30~12:00
3時限	12:50~14:20
4時限	14:30~16:00
5時限	16:10~17:40
6時限	17:50~19:20
7時限	19:30~21:00

通年… 通年開講
前期… 前期開講
後期… 後期開講

対象学年	授業科目	開講時期	担当教員	授業コード	担当教員	授業コード	
1・2・3学年	国際文化特別研究	通年	中田 晋自	1Z12010301	池田 周	1Z12010308	
			竹中 克行	1Z12010302	川尻 文彦	1Z12010309	
			亀井 伸孝	1Z12010303	佐野 直子	1Z12010310	
			森田 久司	1Z12010304	秋田 貴美子	1Z12010311	
			東 弘子	1Z12010305	菊池 好行	1Z12010312	
			今野 元	1Z12010306	張 文菁	1Z12010313	
			谷口 智子	1Z12010307	杉原 周治	1Z12010314	

【言語文化研究特講Ⅱ、社会文化研究特講Ⅱ】（2年次以降対象）
 研究特講Ⅱは、各自の指導教員が担当するクラスに限り履修できます。履修を希望する場合は、指導教員に相談の上、履修登録をしてください。
 開講制限は指導教員と院生の話し合いで変更となる場合があります。

【研究指導】

研究指導は1年間4単位で在学期間3年間・合計12単位必要です。成績は各学年ごとに評価されますので毎年必ず履修登録してください。
 なお、学位(博士)論文はこの研究指導とは別に評価(審査)されます。

2026年度 国際文化研究科 博士後期課程 日本文化専攻 時間割表

月曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						
7限	歴史地域研究特講I	通年	4	丸山 裕美子	オンライ	1Z14210101

火曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限	語学文学研究特講I	通年	4	伊藤 伸江	G805	1Z14200201
3限						
4限	語学文学研究特講I	通年	4	本橋 裕美	G810	1Z14200001
5限	歴史地域研究特講I	通年	4	服部 亜由未	G601	1Z14210201
6限	語学文学研究特講I	通年	4	福沢 将樹	G804	1Z14200101
7限						

水曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

〈研究特講II〉

語学文学研究特講II	通年	4	(各指導教員)	※
歴史地域研究特講II	通年	4	(各指導教員)	

授業時間	
1時限	8:50~10:20
2時限	10:30~12:00
3時限	12:50~14:20
4時限	14:30~16:00
5時限	16:10~17:40
6時限	17:50~19:20
7時限	19:30~21:00

通年 … 通年開講
 前期 … 前期開講
 後期 … 後期開講

木曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限	語学文学研究特講I	通年	4	中根 千絵	G803	1Z14200401
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

金曜日						
時限	授業科目名	開講時期	単位	教授者	教室	授業コード
1限						
2限						
3限						
4限						
5限	語学文学研究特講I	通年	4	宮崎 真素美	G806	1Z14200301
6限						
7限						

〈研究指導〉

対象学年	授業科目	開講時期	担当教員	授業コード	担当教員	授業コード
1・2・3学年	日本文化特別研究	通年	伊藤 伸江	1Z14008301	中根 千絵	1Z14008305
			丸山 裕美子	1Z14008302	服部 由由未	1Z14008306
			宮崎 真奈美	1Z14008303	本橋 裕美	1Z14008307
			福沢 将樹	1Z14008304	柴田 陽一	1Z14008308

【研究特講Ⅱ】(2年次以降、2023年度以降入学生対象科目)※
 語学文学研究特講Ⅱ、歴史地域研究特講Ⅱを履修する場合は、指導教員に相談の上、「博士後期課程日本文化専攻 履修登録期間中に学務課に提出してください。
 開講時限は、指導教員と院生の話し合いで変更となる場合があります。

【研究指導】

研究指導は1年間4単位で在学期間3年間・合計12単位必要です。成績は各学年ごとに評価されますので毎年必ず履修登録してください。
 なお、学位(博士)論文はこの研究指導とは別に評価(審査)されます。

(国際文化研究科 国際文化専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修	
共通基礎科目	国際文化研究基礎	1	2	2	
言語文化専門科目	言語研究分野	現代英語学研究	1・2	4	30
		歴史英語学研究	1・2	4	
		英語教育学研究	1・2	2	
		中国語学研究	1・2	4	
		言語学・諸言語研究	1・2	4	
		英語表現演習	1・2	4	
		コミュニティ通訳翻訳演習	1・2	4	
		コミュニティ通訳研究	1・2	4	
		会議通訳演習	1・2	2	
		司法・医療通訳論	1・2	2	
	言語特別研究	2	4		
	文学文化研究分野	イギリス文学・文化研究	1・2	4	
		アメリカ文学・文化研究	1・2	4	
		中国文学・文化研究	1・2	4	
諸地域文学・文化研究		1・2	4		
翻訳演習(英・日)		1・2	4		
文学文化特別研究		2	4		
社会文化専門科目	国際社会研究分野	英米政治経済研究	1・2	4	28
		ヨーロッパ政治経済研究	1・2	4	
		中国政治経済研究	1・2	4	
		国際関係論研究	1・2	4	
		国際社会特別研究	2	4	
	地域社会研究分野	英米歴史社会研究	1・2	4	
		ヨーロッパ歴史社会研究	1・2	4	
		アジア歴史社会研究	1・2	4	
		中南米・新興国地域研究	1・2	4	
		比較地域研究	1・2	4	
共通関連科目	共通関連科目	多文化共生論	1・2	2	
		公益通訳と社会資源	1・2	2	
		文化理論研究	1・2	4	
		日本語教育学研究	1・2	2	
		国際コミュニケーション	1・2	4	
		多言語多文化実務論	1・2	4	
		コミュニティ通訳実習	2	2	
		学外連携プロジェクト型研修	1・2	2	
		国際文化特殊研究	1・2	8	
		海外大学院修得科目	1・2	4	
研究指導科目	国際文化特殊演習	1・2	4	4	
	国際文化研究	1・2通	4		
合計			154	34	

修了するには以下の要件を満たすことが必要。
 博士前期課程に2年(優れた業績を上げた者については、1年)以上在学。
 共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)から30単位以上を修得。
 研究指導(国際文化研究)4単位を修得。

共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)を合わせた必要30単位の内訳は次の通りです。

- (イ) 共通基礎科目「国際文化研究基礎」を2単位
- (ロ) 国際文化専攻の専門科目、共通関連科目、「国際文化特殊演習」、日本文化専攻の専門科目から合わせて24単位。この中に自身が所属する研究分野の専門科目4単位を含むこと。日本文化専攻の専門科目は、4単位を限度とする。
- (ハ) 国際文化専攻の専門科目のうち、自身が所属する研究分野以外の専門科目から合わせて4単位

- ※ 英語高度専門職業人コースを選択する学生は、上記(イ)(ロ)(ハ)に従い、別表(英語高度専門職業人コース)の指定科目を履修すること。
- ※ コミュニティ通訳学コースを選択する学生は、上記(イ)(ロ)(ハ)に従い、別表(コミュニティ通訳学コース)の指定科目を履修すること。

修士論文・特定課題研究成果

- ・ 特別研究科目については、国際文化専攻2年次において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り受講できる。
- ・ 本学他研究科および国内他大学の大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特殊研究」として認定する。

(国際文化研究科 国際文化専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修		
共通基礎科目	国際文化研究基礎	1	2	2		
言語文化専門科目	言語研究分野	現代英語学研究	1・2	4	30	
		歴史英語学研究	1・2	4		
		英語教育学研究	1・2	2		
		中国語学研究	1・2	4		
		言語学・諸言語研究	1・2	4		
		英語表現演習	1・2	4		
		コミュニティ通訳翻訳演習	1・2	4		
		コミュニティ通訳研究	1・2	4		
	言語特別研究	2	4			
	文学文化研究分野	イギリス文学・文化研究	1・2	4		
		アメリカ文学・文化研究	1・2	4		
		中国文学・文化研究	1・2	4		
		諸地域文学・文化研究	1・2	4		
		翻訳演習(英・日)	1・2	4		
文学文化特別研究		2	4			
社会文化専門科目	国際社会研究分野	英米政治経済研究	1・2	4	28	
		ヨーロッパ政治経済研究	1・2	4		
		中国政治経済研究	1・2	4		
		国際関係論研究	1・2	4		
		国際社会特別研究	2	4		
	地域社会研究分野	英米歴史社会研究	1・2	4		
		ヨーロッパ歴史社会研究	1・2	4		
		アジア歴史社会研究	1・2	4		
		中南米・新興国地域研究	1・2	4		
		比較地域研究	1・2	4		
		文化人類学研究	1・2	4		
		地域社会特別研究	2	4		
		共通関連科目	多文化共生論	1・2		2
			公益通訳と社会資源	1・2		2
文化理論研究	1・2		4			
日本語教育学研究	1・2		2			
国際コミュニケーション	1・2		4			
多言語多文化実務論	1・2		4			
コミュニティ通訳実習	2		2			
国際文化特殊研究	1・2		8			
海外大学院修得科目	1・2	4				
研究指導科目	国際文化特殊演習	1・2	4	4		
	国際文化研究	1・2通	4			
合計			148	34		

修了するには以下の要件を満たすことが必要。
 博士前期課程に2年(優れた業績を上げた者については、1年)以上在学。
 共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)から30単位以上を修得。
 研究指導(国際文化研究)4単位を修得。

共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)を合わせた必要30単位の内訳は次の通りです。

- (イ) 共通基礎科目「国際文化研究基礎」を2単位
- (ロ) 国際文化専攻の専門科目、共通関連科目、「国際文化特殊演習」、日本文化専攻の専門科目から合わせて24単位。この中に自身が所属する研究分野の専門科目4単位を含むこと。日本文化専攻の専門科目は、4単位を限度とする。
- (ハ) 国際文化専攻の専門科目のうち、自身が所属する研究分野以外の専門科目から合わせて4単位

※ 英語高度専門職業人コースを選択する学生は、上記(イ)(ロ)(ハ)に従い、別表(英語高度専門職業人コース)の指定科目を履修すること。

※ コミュニティ通訳学コースを選択する学生は、上記(イ)(ロ)(ハ)に従い、別表(コミュニティ通訳学コース)の指定科目を履修すること。

修士論文・特定課題研究成果

- ・ 特別研究科目については、国際文化専攻2年次において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り受講できる。
- ・ 本学他研究科および国内他大学の大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特殊研究」として認定する。

履修・学位論文について

(国際文化研究科 国際文化専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修		
共通基礎科目	国際文化研究基礎	1	2	2		
言語文化専門科目	言語研究分野	現代英語学研究	1・2	4	30	
		歴史英語学研究	1・2	4		
		英語教育学研究	1・2	2		
		中国語学研究	1・2	4		
		言語学・諸言語研究	1・2	4		
		通訳演習(英・日)	1・2	4		
		英語表現演習	1・2	4		
		コミュニティ通訳翻訳演習	1・2	4		
		コミュニティ通訳研究	1・2	4		
	言語特別研究	2	4			
	文学文化研究分野	イギリス文学・文化研究	1・2	4		
		アメリカ文学・文化研究	1・2	4		
		中国文学・文化研究	1・2	4		
		諸地域文学・文化研究	1・2	4		
翻訳演習(英・日)		1・2	4			
文学文化特別研究		2	4			
社会文化専門科目	国際社会研究分野	英米政治経済研究	1・2	4	28	
		ヨーロッパ政治経済研究	1・2	4		
		中国政治経済研究	1・2	4		
		国際関係論研究	1・2	4		
		国際社会特別研究	2	4		
	地域社会研究分野	英米歴史社会研究	1・2	4		
		ヨーロッパ歴史社会研究	1・2	4		
		アジア歴史社会研究	1・2	4		
		中南米・新興国地域研究	1・2	4		
		比較地域研究	1・2	4		
		文化人類学研究	1・2	4		
		地域社会特別研究	2	4		
		共通関連科目	多文化共生論	1・2		2
			公益通訳と社会資源	1・2		2
文化理論研究	1・2		4			
日本語教育学研究	1・2		2			
国際コミュニケーション	1・2		4			
多言語多文化実務論	1・2		4			
コミュニティ通訳実習	2		2			
国際文化特殊研究	1・2		8			
海外大学院修得科目	1・2		4			
研究指導科目	国際文化特殊演習	1・2	4	4		
	国際文化研究	1・2通	4			
合計			152	34		

修了するには以下の要件を満たすことが必要。
 博士前期課程に2年(優れた業績を上げた者については、1年)以上在学。
 共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)から30単位以上を修得。
 研究指導(国際文化研究)4単位を修得。

共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)を合わせた必要30単位の内訳は次の通りです。

- (イ) 共通基礎科目「国際文化研究基礎」を2単位
- (ロ) 国際文化専攻の専門科目、共通関連科目、「国際文化特殊演習」、日本文化専攻の専門科目から合わせて24単位。この中に自身が所属する研究分野の専門科目4単位を含むこと。日本文化専攻の専門科目は、4単位を限度とする。
- (ハ) 国際文化専攻の専門科目のうち、自身が所属する研究分野以外の専門科目から合わせて4単位

※ 英語高度専門職業人コースを選択する学生は、上記(イ)(ロ)(ハ)に従い、別表(英語高度専門職業人コース)の指定科目を履修すること。

※ コミュニティ通訳学コースを選択する学生は、上記(イ)(ロ)(ハ)に従い、別表(コミュニティ通訳学コース)の指定科目を履修すること。

修士論文・特定課題研究成果

- ・ 特別研究科目については、国際文化専攻2年次において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り受講できる。
- ・ 本学他研究科および国内他大学の大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特殊研究」として認定する。

(英語高度専門職業人コース)

科目群	授業科目の名称	単位数	必修	内容
A群 英米言語・文化論	現代英語学研究	4	10	英米文化について広く学び、国際教養力を高めるとともに、英語教育学を含む英語研究に必要な専門的知識を涵養する講義
	歴史英語学研究	4		
	英語教育学研究	2		
	イギリス文学・文化研究	4		
	アメリカ文学・文化研究	4		
	英米政治経済研究	4		
	英米歴史社会研究	4		
B群 英語演習・英語翻訳論	翻訳演習(英・日)	4	10	翻訳を専門的に行うために必要な言語運用能力を向上させる演習
	国際コミュニケーション	2		
	英語表現演習	4		
C群 異文化論	国際文化研究基礎	2	4	異文化理解を深化させるための講義
	多文化共生論	2		
	文化理論研究	4		
D群 論文演習	国際文化研究(研究指導)	4	4	修論・特定課題研究成果を作成するための実践的な演習
上記を含めた 国際文化専攻のいずれかの科目			6	
合計			34	

備考

- 英語高度専門職業人コースは博士前期課程国際文化専攻の学生に適用する。
- 本コースを修了するためには、本学大学院国際文化研究科博士前期課程修了時に、上の表に従い、34 単位以上を修得済みであること。
- 中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状(英語)を得ようとする学生は、教育職員養成課程に関する履修規程別表第6(第3条関係)(1)教科および教職に関する科目(国際文化研究科国際文化専攻)中専免・高専免(英語)を参照すること。
- B群の「国際コミュニケーション」は英語科目を履修すること。

本コースは、国際文化専攻設置科目の中から、コース修了に必要な所定の単位科目を選択・累積方式で履修することにより、修了認定される。
従って、修了要件は国際文化専攻と同様。
※ただし、現職のある社会人学生が実質的に1年間で本コース必修科目(修士論文を除く)を履修できる開講形態を採用。

英語高度専門職業人コース概要

- 国際社会(=多言語文化共生社会)における多様なコミュニケーション環境を生き抜くための「言語知識」と「言語運用能力」を強化すると同時に、実際の言語使用をサポートする理論的基盤「国際文化学」を修める。
- コミュニケーションの現場における問題解決能力を開発・発展・進化/深化させる。

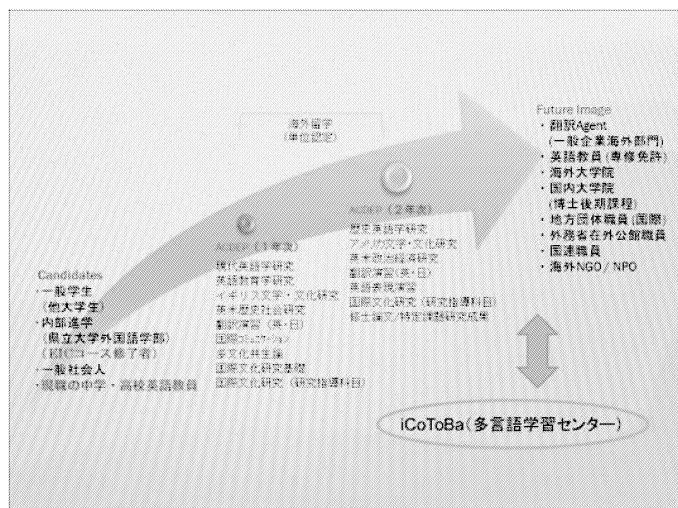
英語高度専門職業人コース目標

- 英語を使うプロフェッショナルになるために必要な高度な英語力を身につける。
⇒EGP(English for General Purposes)としては修了時に TOEIC 950 点超え/英検1級取得を目標
⇒ESP(English for Specific Purposes)としては、翻訳 Translation 能力の向上を目標
- イギリス、アメリカなどの英語圏についての言語文化・社会文化に関する知識を身につける。
- 英語そのものについての専門的な知識を身につける。
⇒EAP(English for Academic Purposes)

英語高度専門職業人コース特徴

- 実際の国際社会におけるコミュニケーションに直結する(役に立つ)語学演習科目を多く開講する。
⇒英語演習科目の充実
(ア)英語表現演習
(イ)国際コミュニケーション
- 個別指導を徹底して、Quality の高い実務型授業を実施し、言語知識と言語運用能力の向上を確かなものにする。
⇒翻訳演習(英・日)
- 在職のまま就学する社会人や現職の高校教員等に無理のないように、通常の履修計画で、専修免許(英語)の取得が自動的に可能となる質の高いカリキュラム構成を実現。

履修・学位論文について



(英語高度専門職業人コース)

科目群	授業科目の名称	単位数	必修	内容
A群 英米言語・文化論	現代英語学研究	4	10	英米文化について広く学び、国際教養力を高めるとともに、英語教育学を含む英語研究に必要な専門的知識を涵養する講義
	歴史英語学研究	4		
	英語教育学研究	2		
	イギリス文学・文化研究	4		
	アメリカ文学・文化研究	4		
	英米政治経済研究	4		
	英米歴史社会研究	4		
B群 英語通訳・翻訳論	通訳演習(英・日)	4	12	翻訳を専門に行うために必要な言語運用能力を向上させる演習
	翻訳演習(英・日)	4		
	国際コミュニケーション	4		
	英語表現演習	4		
C群 異文化論	国際文化研究基礎	2	4	異文化理解を深化させるための講義
	多文化共生論	2		
	文化理論研究	4		
D群 論文演習	国際文化研究(研究指導)	4	4	修論・特定課題研究成果を作成するための実践的な演習
上記を含めた 国際文化専攻のいずれかの科目			4	
合計			34	

本コースは、国際文化専攻設置科目の中から、コース修了に必要な所定の単位科目を選択・累積方式で履修することにより、修了認定される。

従って、修了要件は国際文化専攻と同様。

※ただし、現職のある社会人学生が実質的に1年間で本コース必修科目(修士論文を除く)を履修できる開講形態を採用。

英語高度専門職業人コース概要

- (1) 国際社会(=多言語文化共生社会)における多様なコミュニケーション環境を生き抜くための「言語知識」と「言語運用能力」を強化すると同時に、実際の言語使用をサポートする理論的基盤「国際文化学」を修める。
- (2) コミュニケーションの現場における問題解決能力を開発・発展・進化/深化させる。

英語高度専門職業人コース目標

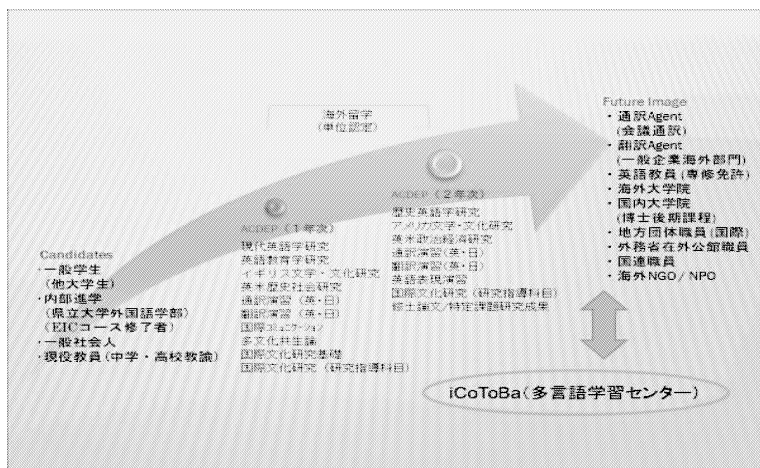
- (1) 英語を使うプロフェッショナルになるために必要な高度な英語力を身につける。
⇒EGP(English for General Purposes)としては修了時にTOEIC 950点超え/英検1級取得を目標
⇒ESP(English for Specific Purposes)としては、通訳 Inter-pretng / 翻訳 Translation能力の向上を目標
- (2) イギリス、アメリカなどの英語圏についての言語文化・社会文化に関する知識を身につける。
- (3) 英語そのものについての専門的な知識を身につける。
⇒EAP(English for Academic Purposes)

英語高度専門職業人コース特徴

- (1) 実際の国際社会におけるコミュニケーションに直結する(役に立つ)語学演習科目を多く開講する。
⇒英語演習科目の充実
英語表現演習
国際コミュニケーション
- (2) 個別指導を徹底して、Qualityの高い実務型授業を実施し、言語知識と言語運用能力の向上を確かなものにする。
⇒通訳演習(英・日)
翻訳演習(英・日)
- (3) 在職のまま就学する社会人や現職の高校教員等に無理のないように、通常の履修計画で、専修免許(英語)の取得が自動的に可能となる質の高いカリキュラム構成を実現。

備考

- 1 英語高度専門職業人コースは博士前期課程国際文化専攻の学生に適用する。
- 2 本コースを修了するためには、本学大学院国際文化研究科博士前期課程修了時に、上の表に従い、34単位以上を修得済みであること。
- 3 本コースを修了したものは、専修免許(英語)取得に必要な最低限の修得単位を満たすことができる。



(コミュニティ通訳学コース)

科目群	授業科目の名称	単位数	必修	
			通訳専門分野	コーディネイト専門分野
基礎科目	国際文化研究基礎	2	2	2
	多文化共生論	2	2	2
	公益通訳と社会資源	2	2	2
コミュニティ通訳学科目	国際コミュニケーション	4	2	2
	コミュニティ通訳翻訳演習	4	4	2
	コミュニティ通訳研究	4	4	4
	会議通訳演習	2		
	司法・医療通訳論	2	2	
多文化社会論科目	多言語多文化実務論	4	4	4
	地域社会学特講	4		
	多文化社会論特講	4		
	比較地域研究	4		
専門分野連携科目	比較法政治研究	4		
	公共政策論特講	4		
	スクールソーシャルワーク特講	4	2	4
	地域福祉論特講	4		
	子ども家庭福祉論特講	4		
	医療福祉論特講	4		
	地域看護学特論	2		
	国際看護学特論	2		
	国際文化特殊研究	8		
関連科目	その他国際文化研究科 開講科目		4	6
	実務			
実務	学外連携プロジェクト型研修	2		
	コミュニティ通訳実習	2	2	2
指導	国際文化特殊演習	4		
	国際文化研究	4	4	4
合計			34	34

本コースの修了認定を受けるためには、国際文化専攻が定める修了要件を満たし、かつ左表の必修単位を全て満たしていることが必要。

単位修得にあたっての留意事項

- 本コースは、所属研究分野を問わず履修することができるが、コース修了のための必修科目「コミュニティ通訳研究」「コミュニティ通訳翻訳演習」が設置されている「言語研究分野」が望ましい。「言語研究分野」を選択した場合、コース修了のための「その他国際文化研究科開講科目」必修6単位のうち、4単位を「社会文化専門科目」から履修すること。残りの単位については、1年次に「国際文化特殊演習b」、2年次に「国際文化特殊演習e」を履修することを勧める。(16ページの国際文化専攻 博士前期課程カリキュラム表を参照)。
- 「国際文化研究基礎」および「多言語多文化実務論」は必ず1年次に履修すること。特に後者は2年次に実施する「コミュニティ通訳実習」の参加要件となる。
- 「国際コミュニケーション」の履修について
 - 日本語を母語としない人は、2単位以上を(日本語)で受講する。
 - 日本語を母語とする人は、2単位以上を外国語(英、中、スペイン、ポルトガル語のいずれか)で受講する。
- 「国際コミュニケーション」および「コミュニティ通訳翻訳演習」の開講言語は、入学者の状況に応じて決まるため、年度によって開講されない場合がある。自分に必要な言語が開講されている年は必ず履修すること。
- 「国際文化研究」では、将来的に研究者、指導者を目指す者は修士論文を執筆することが望ましい。社会人等で現場での実践を重視していきたい者は、修士論文に代えて特定課題研究成果を執筆する。
- 「多言語多文化実務論」は変則的な日程で開講されるため、年度初めのガイダンスまたは UNIPA 等で開講初日までに確認しておくこと。

・「国際文化特殊研究」をコミュニティ通訳学コースの単位として認めるのは、本表の科目群「専門分野連携科目」に記載されている他研究科連携科目を讀替え認定する場合に限る。

(コミュニティ通訳学コース)

科目群	授業科目の名称	単位数	必修	
基礎科目	国際文化研究基礎	2	2	
	多文化共生論	2	2	
	公益通訳と社会資源	2	2	
通訳学科目	国際コミュニケーション	4	2	
	コミュニティ通訳翻訳演習	4	2	
	コミュニティ通訳研究	4	4	
多文化社会論科目	多言語多文化実務論	4	4	
	地域社会学特講	4		
	多文化社会論特講	4		
専門分野連携科目	比較法政治研究	4		30
	公共政策論特講	4		
	スクールソーシャルワーク特講	4		
	地域福祉論特講	4		
	子ども家庭福祉論特講	4	4	
	医療福祉論特講	4		
	地域看護学特講	2		
	国際看護学特講	2		
	国際文化特殊研究	8		
関連科目	その他国際文化研究科 開講科目		6	
	実務	コミュニティ通訳実習	2	2
指導研究	国際文化特殊演習	4		
	国際文化研究	4	4	4
合計				34

本コースの修了認定を受けるためには、国際文化専攻が定める修了要件を満たし、かつ左表の必修単位を全て満たしていることが必要。

単位修得にあたっての留意事項

- 本コースは、所属研究分野を問わず履修することができるが、コース修了のための必修科目「コミュニティ通訳研究」「コミュニティ通訳翻訳演習」が設置されている「言語研究分野」が望ましい。
「言語研究分野」を選択した場合、コース修了のための「その他国際文化研究科開講科目」必修6単位のうち、4単位を「社会文化専門科目」から履修すること。残りの単位については、1年次に「国際文化特殊演習b」、2年次に「国際文化特殊演習e」を履修することを勧める。(17ページの国際文化専攻 博士前期課程カリキュラム表を参照)。
- 「国際文化研究基礎」および「多言語多文化実務論」は必ず1年次に履修すること。特に後者は2年次に実施する「コミュニティ通訳実習」の参加要件となる。
- 「国際コミュニケーション」の履修について
 - 日本語を母語としない人は、2単位以上を(日本語)で受講する。
 - 日本語を母語とする人は、2単位以上を外国語(英、中、スペイン、ポルトガル語のいずれか)で受講する。
- 「国際コミュニケーション」および「コミュニティ通訳翻訳演習」の開講言語は、入学者の状況に応じて決まるため、年度によって開講されない場合がある。自分に必要な言語が開講されている年は必ず履修すること。
- 「国際文化研究」では、将来的に研究者、指導者を目指す者は修士論文を執筆することが望ましい。社会人等で現場での実践を重視していきたい者は、修士論文に代えて特定課題研究成果を執筆する。
- 「多言語多文化実務論」は変則的な日程で開講されるため、年度初めのガイダンスまたは UNIPA 等で開講初日までに確認しておくこと。

・「国際文化特殊研究」をコミュニティ通訳学コースの単位として認めるのは、本表の科目群「専門分野連携科目」に記載されている他研究科連携科目を履修し認定する場合に限る。

(コミュニティ通訳学コース)

科目群	授業科目の名称	単位数	必修	
基礎科目	国際文化研究基礎	2	2	30
	多文化共生論	2	2	
	公益通訳と社会資源	2	2	
通訳学科目	国際コミュニケーション	4	2	
	コミュニティ通訳翻訳演習	4	2	
	コミュニティ通訳研究	4	4	
多文化社会論科目	多言語多文化実務論	4	4	
	地域社会学特講	4		
	多文化社会論特講	4		
専門分野連携科目	比較法政治研究	4		
	学校経営論特講	4		
	公共政策論特講	4		
	スクールソーシャルワーク特講	4		
	地域福祉論特講	4	4	
	子ども家庭福祉論特講	4		
	医療福祉論特講	4		
	地域看護学特論	2		
	国際看護学特論	2		
国際文化特殊研究	8			
専門分野関連科目	その他国際文化研究科開講科目		6	
実務	コミュニティ通訳実習	2	2	
指導	国際文化特殊演習	4		
	国際文化研究	4	4	
合計				34

本コースの修了認定を受けるためには、国際文化専攻が定める修了要件を満たし、かつ左表の必修単位を全て満たしていることが必要。

単位修得にあたっての留意事項

- 本コースは、所属研究分野を問わず履修することができるが、コース修了のための必修科目「コミュニティ通訳研究」「コミュニティ通訳翻訳演習」が設置されている「言語研究分野」が望ましい。「言語研究分野」を選択した場合、コース修了のための「その他国際文化研究科開講科目」必修6単位のうち、4単位を「社会文化専門科目」から履修すること。残りの単位については、1年次に「国際文化特殊演習b」、2年次に「国際文化特殊演習e」を履修することを勧める。(17ページの国際文化専攻 博士前期課程カリキュラム表を参照)。
- 「国際文化研究基礎」および「多言語多文化実務論」は必ず1年次に履修すること。特に後者は2年次に実施する「コミュニティ通訳実習」の参加要件となる。
- 「国際コミュニケーション」の履修について
 - 日本語を母語としない人は、2単位以上を(日本語)で受講する。
 - 日本語を母語とする人は、2単位以上を外国語(英、中、スペイン、ポルトガル語のいずれか)で受講する。
- 「国際コミュニケーション」および「コミュニティ通訳翻訳演習」の開講言語は、入学者の状況に応じて決まるため、年度によって開講されない場合がある。自分に必要な言語が開講されている年は必ず履修すること。
- 「国際文化研究」では、将来的に研究者、指導者を目指す者は修士論文を執筆することが望ましい。社会人等で現場での実践を重視していきたい者は、修士論文に代えて特定課題研究成果を執筆する。
- 「多言語多文化実務論」は変則的な日程で開講されるため、年度初めのガイダンスまたは UNIPA 等で開講初日までに確認しておくこと。

履修・学位論文について

・「国際文化特殊研究」をコミュニティ通訳学コースの単位として認めるのは、本表の科目群「専門分野連携科目」に記載されている他研究科連携科目を読替え認定する場合に限る。

(コミュニティ通訳学コース)

科目群	授業科目の名称	単位数	必修		
基礎科目	国際文化研究基礎	2	2	30	
	多文化共生論	2	2		
	公益通訳と社会資源	2	2		
通訳学 コミュニティ	国際コミュニケーション	4	2		
	コミュニティ通訳翻訳演習	4	2		
	コミュニティ通訳研究	4	4		
多文化社会論 科目	多言語多文化実務論	4	4		
	地域社会学特講	4			
	多文化社会論特講	4			
専門分野 連携科目	日本法政治研究 I・II	4			
	学校経営論特講	4			
	公共政策論特講	4			
	スクールソーシャルワーク特講	4			
	地域福祉論特講	4	4		
	子ども家庭福祉論特講	4			
	医療福祉論特講	4			
	地域看護学特論	2			
	国際看護学特論	2			
	国際文化特殊研究	8			
関連科目 専門分野	その他国際文化研究科開講科目		6		
実務 実習	コミュニティ通訳実習	2	2		
研究 指導	国際文化特殊演習	4			
	国際文化研究	4	4		
合計					34

本コースの修了認定を受けるためには、国際文化専攻が定める修了要件を満たし、かつ左表の必修単位を全て満たしていることが必要。

単位修得にあたっての留意事項

- 本コースは、所属研究分野を問わず履修することができるが、コース修了のための必修科目「コミュニティ通訳研究」「コミュニティ通訳翻訳演習」が設置されている「言語研究分野」が望ましい。
「言語研究分野」を選択した場合、コース修了のための「その他国際文化研究科開講科目」必修6単位のうち、4単位を「社会文化専門科目」から履修すること。残りの単位については、1年次に「国際文化特殊演習b」、2年次に「国際文化特殊演習e」を履修することを勧める。(18ページの国際文化専攻 博士前期課程カリキュラム表を参照)。
- 「国際文化研究基礎」および「多言語多文化実務論」は必ず1年次に履修すること。特に後者は2年次に実施する「コミュニティ通訳実習」の参加要件となる。
- 「国際コミュニケーション」の履修について
 - 日本語を母語としない人は、2単位以上を(日本語)で受講する。
 - 日本語を母語とする人は、2単位以上を外国語(英、中、スペイン、ポルトガル語のいずれか)で受講する。
- 「国際コミュニケーション」および「コミュニティ通訳翻訳演習」の開講言語は、入学者の状況に応じて決まるため、年度によって開講されない場合がある。自分に必要な言語が開講されている年は必ず履修すること。
- 「国際文化研究」では、将来的に研究者、指導者を目指す者は修士論文を執筆することが望ましい。社会人等で現場での実践を重視していきたい者は、修士論文に代えて特定課題研究成果を執筆する。
- 「多言語多文化実務論」は変則的な日程で開講されるため、年度初めのガイダンスまたは UNIPA 等で開講初日までに確認しておくこと。

・「国際文化特殊研究」をコミュニティ通訳学コースの単位として認めるのは、本表の科目群「専門分野連携科目」に記載されている他研究科連携科目を読替え認定する場合に限る。

コミュニティ通訳学コース履修例

(実際の開講時間帯は必ず時間割を確認した上で必要な科目を選択してください)

1 年次 前期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						多言語多文化実務論 (隔週土曜日午後・開講 日時は要確認)
4		多文化社会論 特講				
5						
6	多文化共生論	中国語学研究	国際文化研究基礎		国際コミュニケーション (スペイン語)	
7				国際文化特殊演 習b(隔週)		

1 年次 後期

	月	火	水	木	金	土
1						
2		比較地域研究				
3						多言語多文化実務論 (隔週土曜日午後・開講 日時は要確認)
4		多文化社会論 特講				
5						
6	言語・諸言語研究		コミュニティ通訳 研究	コミュニティ通訳 研究	公益通訳と社会 資源	
7			コミュニティ通訳 翻訳演習(スペイン 語/ベトナム語)	国際文化特殊演 習b(隔週)	国際コミュニケー ション(英語)	

(網掛け…他研究科科目の例)

博士前期課程 カリキュラム 日本文化専攻

入学年度【2026年度】

(国際文化研究科 日本文化専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修	
共通基礎科目	国際文化研究基礎	1	2	2	
言語文化専門科目	言語研究分野	日本語音韻・表記研究	1・2	4	30
		日本語文法研究	1・2	4	
		日本語表現研究	1・2	4	
		言語特別研究	2	4	
	文学思想研究分野	日本古代文学研究	1・2	4	
		日本中世文学研究(韻文・思想)	1・2	4	
		日本中世文学研究(散文・伝承)	1・2	4	
		日本近世文学研究	1・2	4	
		日本近代文学研究	1・2	4	
		日本近現代文学研究	1・2	4	
社会文化専門科目	歴史文化研究分野	比較考古学研究	1・2	4	28
		前近代歴史社会研究	1・2	4	
		近現代歴史社会研究	1・2	4	
		比較文化史研究	1・2	4	
		歴史文化特別研究	2	4	
	地域文化研究分野	現代社会研究	1・2	4	
		人文地理学研究	1・2	4	
		歴史地理学研究	1・2	4	
		比較法政治研究	1・2	4	
		比較文化研究	1・2	4	
共通関連科目	共通関連科目	多文化共生論	1・2	2	
		公益通訳と社会資源	1・2	2	
		文化理論研究	1・2	4	
		日本語教育学研究	1・2	2	
		国際コミュニケーション	1・2	4	
		多言語多文化実務論	1・2	4	
		コミュニティ通訳実習	2	2	
		学外連携プロジェクト型研修	1・2	2	
		国際文化特殊研究	1・2	8	
		海外大学院修得科目	1・2	4	
研究指導科目	国際文化特殊演習	1・2	4	4	
	日本文化研究	1・2通	4		
合計			136	34	

修了するには以下の要件を満たすことが必要。
 博士前期課程に2年(優れた業績を上げた者については、1年)以上在学。
 共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)から30単位以上を修得。
 研究指導(日本文化研究)4単位を修得。

共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)を合わせた必要30単位の内訳は次の通りです。

- (イ) 共通基礎科目「国際文化研究基礎」を2単位
- (ロ) 自身が所属する研究分野から4単位
- (ハ) 自身が所属する研究分野と同じ専門内の他の研究分野から4単位
- (ニ) 日本文化専攻内の他の専門から4単位
- (ホ) 日本文化専攻の専門科目、共通関連科目、「国際文化特殊演習」、国際文化専攻の専門科目から16単位。ただし、国際文化専攻の専門科目は、12単位を限度とする。

修士論文

- ・特別研究科目については、日本文化専攻2年次において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り履修できる。
- ・本学他研究科および国内他大学の大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特殊研究」として認定する。

(国際文化研究科 日本文化専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修	
共通基礎科目	国際文化研究基礎	1	2	2	
言語文化専門科目	言語研究分野	日本語音韻・表記研究	1・2	4	30
		日本語文法研究	1・2	4	
		日本語表現研究	1・2	4	
		言語特別研究	2	4	
	文学思想研究分野	日本古代文学研究	1・2	4	
		日本中世文学研究(韻文・思想)	1・2	4	
		日本中世文学研究(散文・伝承)	1・2	4	
		日本近世文学研究	1・2	4	
		日本近代文学研究	1・2	4	
		日本近現代文学研究	1・2	4	
社会文化専門科目	歴史文化研究分野	比較考古学研究	1・2	4	28
		前近代歴史社会研究	1・2	4	
		近現代歴史社会研究	1・2	4	
		比較文化史研究	1・2	4	
		歴史文化特別研究	2	4	
	地域文化研究分野	現代社会研究	1・2	4	
		人文地理学研究	1・2	4	
		歴史地理学研究	1・2	4	
		比較法政治研究	1・2	4	
		比較文化研究	1・2	4	
共通関連科目	共通関連科目	多文化共生論	1・2	2	
		公益通訳と社会資源	1・2	2	
		文化理論研究	1・2	4	
		日本語教育学研究	1・2	2	
		国際コミュニケーション	1・2	4	
		多言語多文化実務論	1・2	4	
		コミュニティ通訳実習	2	2	
		国際文化特殊研究	1・2	8	
		海外大学院修得科目	1・2	4	
		研究指導科目	国際文化特殊演習	1・2	4
日本文化研究	1・2通		4		
合計			134	34	

修了するには以下の要件を満たすことが必要。
 博士前期課程に2年(優れた業績を上げた者については、1年)以上在学。
 共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)から30単位以上を修得。
 研究指導(日本文化研究)4単位を修得。

共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)を合わせた必要30単位の内訳は次の通りです。

- (イ) 共通基礎科目「国際文化研究基礎」を2単位
- (ロ) 自身が所属する研究分野から4単位
- (ハ) 自身が所属する研究分野と同じ専門内の他の研究分野から4単位
- (ニ) 日本文化専攻内の他の専門から4単位
- (ホ) 日本文化専攻の専門科目、共通関連科目、「国際文化特殊演習」、国際文化専攻の専門科目から16単位。ただし、国際文化専攻の専門科目は、12単位を限度とする。

修士論文

履修・学位論文について

- ・特別研究科目については、日本文化専攻2年次において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り履修できる。
- ・本学他研究科および国内他大学の大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特殊研究」として認定する。

(国際文化研究科 日本文化専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修
基礎科目	国際文化研究基礎	1	2	2
	言語研究分野			
言語文化専門科目	日本語音韻・表記研究 I	1・2	2	30
	日本語音韻・表記研究 II	1・2	2	
	日本語文法研究 I	1・2	2	
	日本語文法研究 II	1・2	2	
	日本語表現研究 I	1・2	2	
	日本語表現研究 II	1・2	2	
	言語特別研究 I	2	2	
	言語特別研究 II	2	2	
	文学思想研究分野			
	日本古代文学研究 I	1・2	2	
	日本古代文学研究 II	1・2	2	
	日本中世文学研究(韻文・思想) I	1・2	2	
	日本中世文学研究(韻文・思想) II	1・2	2	
	日本中世文学研究(散文・伝承) I	1・2	2	
	日本中世文学研究(散文・伝承) II	1・2	2	
	日本近世文学研究 I	1・2	2	
	日本近世文学研究 II	1・2	2	
	日本近代文学研究 I	1・2	2	
	日本近代文学研究 II	1・2	2	
	日本近現代文学研究 I	1・2	2	
日本近現代文学研究 II	1・2	2		
漢文学研究(文学・思想・史学) I	1・2	2		
漢文学研究(文学・思想・史学) II	1・2	2		
文学思想特別研究 I	2	2		
文学思想特別研究 II	2	2		
社会文化専門科目	歴史文化研究分野			
	日本古代史研究 I	1・2	2	
	日本古代史研究 II	1・2	2	
	日本中世史研究 I	1・2	2	
	日本中世史研究 II	1・2	2	
	日本近世史研究 I	1・2	2	
	日本近世史研究 II	1・2	2	
	日本近現代史研究 I	1・2	2	
	日本近現代史研究 II	1・2	2	
	日本考古学研究 I	1・2	2	
	日本考古学研究 II	1・2	2	
	歴史文化特別研究 I	2	2	
	歴史文化特別研究 II	2	2	
	地域文化研究分野			
	日本地域研究 I	1・2	2	
	日本地域研究 II	1・2	2	
	日本地域史研究 I	1・2	2	
	日本地域史研究 II	1・2	2	
日本法政治研究 I	1・2	2		
日本法政治研究 II	1・2	2		
日本社会研究 I	1・2	2		
日本社会研究 II	1・2	2		
日本思想史研究 I	1・2	2		
日本思想史研究 II	1・2	2		
地域文化特別研究 I	2	2		
地域文化特別研究 II	2	2		
共通関連科目	多文化共生論	1・2	2	
	公益通訳と社会資源	1・2	2	
	文化理論研究	1・2	4	
	日本語教育学研究	1・2	2	
	国際コミュニケーション	1・2	4	
	多言語多文化実務論	1・2	4	
	コミュニティ通訳実習	2	2	
	国際文化特殊研究	1・2	8	
	海外大学院修得科目	1・2	4	
研究指導	国際文化特殊演習	1・2	4	
	日本文化研究	1・2通	4	
合計		138	34	

修了するには以下の要件を満たすことが必要。
 博士前期課程に2年(優れた業績を上げた者については、1年)以上在学。
 共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)から30単位以上を修得。
 研究指導(日本文化研究)4単位を修得。

共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導(国際文化特殊演習)を合わせた必要30単位の内訳は次の通りです。

- (イ) 共通基礎科目「国際文化研究基礎」を2単位
- (ロ) 自身が所属する研究分野から4単位
- (ハ) 自身が所属する研究分野と同じ専門内の他の研究分野から4単位
- (ニ) 日本文化専攻内の他の専門から4単位
- (ホ) 日本文化専攻の専門科目、共通関連科目、「国際文化特殊演習」、国際文化専攻の専門科目から16単位。ただし、国際文化専攻の専門科目は、12単位を限度とする。

修士論文

- ・特別研究科目については、日本文化専攻2年次において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り履修できる。
- ・本学他研究科および国内他大学の大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特殊研究」として認定する。

国際文化特殊演習、研究グループについて

「国際文化特殊演習」について

国際文化研究科では、近接する学問分野の教員・院生が一堂に会する大学院合同ゼミを開くことで、院生に対する研究指導の効果を高めるとともに、院生どうし、また教員と院生が切磋琢磨する研究活動の場づくりを進めています。

博士前期課程の学生は、大学院合同ゼミを「国際文化特殊演習」として履修することができます。「国際文化特殊演習」は、指導教員による個人指導を補完する研究指導科目の一つとして位置づけられていますので、積極的な履修を勧めます。

クラスは以下のとおり開設されますので、自分の専門・関心分野に合ったクラスを選んでください。いずれのクラスでも、コーディネータ教員のほか、近接分野の教員数名が参加します。

【a クラス】フィールド系を中心とする社会科学の分野(地理学、人類学、社会学、政治経済学など)。

【b クラス】主に日本国内の多文化状況と言語にかかわる現代的な課題を研究する分野。

【c クラス】文献史学の研究課題を史学史に照らして考える分野。

【d クラス※】マイノリティと言語・国家・社会に関連する諸分野。

【e クラス※】コミュニティ通訳に関係する修士論文等執筆のための研究方法の考察。

※印のクラスは、2026年度は開講されません。

研究グループについて

国際文化研究科では、多彩な研究グループが結成され、自由な共同の討議を重視する活動を進めています。以下は、2025年度に活動中の研究グループです。これらの研究グループは、上述の「国際文化特殊演習」(大学院合同ゼミ)運営の主体となっています。

- 多様性のフィールド学
- 多文化社会と言語
- 歴史学の潮流
- マイノリティと言語・国家・社会
- コミュニティ通訳研究へのアプローチ

他大学での学修について

名古屋市立大学大学院人間文化研究科での科目履修について

本学大学院国際文化研究科と名古屋市立大学大学院人間文化研究科(以下、「名市大」と略す)は、博士前期課程および博士後期課程に関する単位互換協定を結んでいます。名市大での科目履修を希望する人は、以下のことに留意してください。

- 名市大での科目履修は、各自の研究分野を中心とする専門的な学修を深めるための補完的手段です。効果的な学修となるよう、指導教員とよく相談して科目を選択してください。
- 名市大での科目履修を希望する人は、学務課の掲示に注意して、定められた履修希望届出期間中に手続きを行ってください。
- 名市大で履修した科目に関しては、名市大の成績証明が出されます。また、一定の条件下で、名市大での履修科目を本研究科の単位に読み替えることもできます。単位読替えの必要性について指導教員とよく相談したうえで、希望者は学務課の指示に従って申請してください。
- 名市大での履修科目を本研究科の単位に読み替える場合は、以下によることを原則とします。いずれの場合も、成績は「N」認定となります。
博士前期課程：「国際文化特殊研究」として認定。
博士後期課程：「国際文化特講」として認定。
- 設置単位を超えた場合など、読み替えができない場合は、本学の修了単位に算入することができません。

静宜大学とのダブルディグリー制度について

本学(APU)が台湾の静宜大学(PU)との間で結んでいる修士ダブルディグリー協定では、両大学で所定の単位を修め、それぞれの大学で修士論文の審査に合格した学生に対して、両大学の修士学位を授与することができる仕組みになっています。

- ・APUで本ダブルディグリー・プログラム(以下「DDP」)を履修することができるのは、国際文化専攻博士前期課程の学生です。授与される学位は、APUの「修士(国際文化)」およびPUの「台湾文学修士」または「中国文化修士」です。
- ・DDPへの参加を申請するには、APUに1年間(2学期)以上在学し、所定の単位を修得していることが必要です。
- ・DDPの履修を認められた学生は、PUに1年間(2学期)以上留学し(最大2年間まで延長可能)、所定の単位を修めなければなりません。授業料はAPUのみに支払うものとし、PUの授業料は免除されます。
- ・DDPを履修する学生は、両大学における研究指導の成果が反映された修士論文をそれぞれの大学に提出します(APUへは特定課題研究成果の提出も可能)。修士論文の審査は、両大学でそれぞれ実施されます。
- ・その他、DDPの運用に関しては、両大学間の協定および各大学の学内規程に従うものとします。

博士前期課程 学位取得までの流れ

大学院国際文化研究科の3つのポリシーについて

愛知県立大学大学院国際文化研究科における3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)は、大学公式ウェブサイトで公開しています。

愛知県立大学トップ>情報公開・提供>3つのポリシー>大学院国際文化研究科の3つのポリシー:

https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/graduate_international_studies.html



研究指導について

研究指導は、時間割上の特定の時間帯では行いません。どのように指導を受けるかは主・副指導教員と相談してください。1年の4月末までに、主・副指導教員を決定し、「主・副指導教員(変更)報告書」を学務課に提出してください。

「愛知県立大学大学院国際文化研究科履修規程」第4条の2(指導教員は、あらかじめ学生が作成した研究実施計画書に基づいて、単年度ごとに研究指導計画書を所定の様式により作成し、学生に明示するものとする)に基づき、主・副指導教員と相談して、毎年度5月末までに、巻末の様式による「研究指導計画書」を学務課に提出してください。

修士論文・特定課題研究成果について

題目届及び修士論文等の提出、修士論文等中間発表会については、各種書類提出期限およびスケジュール一覧を参照すること。

2年生の6月初旬(予定)、題目届を提出する際に修士論文と特定課題研究成果のいずれかを選択してもらいます。どちらが自分にふさわしいかについて、指導教員としっかり相談して決めておいてください。2年の1月～2月初旬に口述試験を実施します。修士論文等の審査合格により「研究指導科目」4単位が付与されます。

修士論文・特定課題研究成果(研究指導)の成績評価基準について

修士論文の評価

修士論文については主査・副査・審査員の3名が査読し、それに基づき口頭試問を行い、総合的に評価する。評価に際しては、実証性及び論理性の高さを基準として論文の完成度を測り、その研究分野において当該論文が果たすべき意味の大きさをもって評価する。具体的には、提出された修士論文を元にその専門分野の学術雑誌等に公表できる論文(以下「公表論文」と略す)が直ちに作成できると判断される場合にはS、一定程度の手直しによって公表論文が作成できると判断される場合にはA、相当な手直しを経た上でなければ公表すべき学術論文が作成できないと判断される場合にはB、公表すべき学術論文を作成することが困難と判断される場合にはC、現状では学術論文としての体をなしていないと判断される場合にはDの評価を与える。

特定課題研究成果の評価

特定課題研究成果については主査・副査・審査員の3名が査読し、口頭試問を行い、総合的に評価する。評価に際しては、実証性及び論理性の高さを基準として研究成果の完成度を測り、当該研究成果が成し遂げた地域・社会への学術的寄与の大きさをもって評価する。具体的には、学術的な調査・分析方法を駆使して職能団体などへの研究発信が直ちに可能な成果物を得たと判断される場合にはS、一定程度の改善を施すことで前述の研究発信が可能と判断される場合にはA、学術的な調査・分析方法または成果物の組立て・内容のいずれかに相当な改善が必要と判断される場合にはB、学術的な調査・分析方法および成果物の組立て・内容の両面で不十分と判断される場合にはC、現状では特定課題研究成果としての体をなしていないと判断される場合にはDの評価を与える。

科目区分	科目群	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修
特殊講義科目	言語文化研究	言語文化研究特講 I	1・2・3	8	12
		言語文化研究特講 II	2・3	8	
	社会文化研究	社会文化研究特講 I	1・2・3	8	
		社会文化研究特講 II	2・3	8	
	共通関連研究	国際文化特講	1・2・3	4	
研究指導		国際文化特別研究	1・2・3 通	12	12
合計				48	24

修了するには以下の要件を満たすことが必要。

- ①本専攻の博士後期課程に3年(優れた業績を上げた者については1年)以上在学すること。
- ②以下の24単位を修得すること。
 - ・「国際文化特別研究」(研究指導)
4単位×3年=12単位
(優れた業績を上げた者については一括認定)
 - ・特殊講義科目3科目群から12単位
- ③博士論文の審査および所定の試験に合格すること。

研究指導 4単位×3年

- ・研究特講 II は国際文化専攻 2 年次以上において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り履修できる。
- ・他大学大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特講」として認定する。

博士後期課程 カリキュラム 国際文化専攻

入学年度【2019・2020 年度以前】

科目区分	科目群	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修	
特殊講義科目	外国語学 研究	英語言語研究特講	1・2・3	4	12	
		外国語学研究特講Ⅰ	2・3	4		
		外国語学研究特講Ⅱ	3	4		
	外国文学 研究	中国文学研究特講	1・2・3	4		
		外国語文学研究特講Ⅰ	2・3	4		
		外国語文学研究特講Ⅱ	3	4		
	国際社会研究 国際関係・	フランス政治研究特講	1・2・3	4		
		国際関係・国際社会研究特講Ⅰ	2・3	4		
		国際関係・国際社会研究特講Ⅱ	3	4		
	国際歴史社会 研究	フランス歴史文化研究特講	1・2・3	4		
		東アジア歴史文化研究特講	1・2・3	4		
		国際歴史社会研究特講Ⅰ	2・3	4		
		国際歴史社会研究特講Ⅱ	3	4		
	比較地域 研究	地理学研究特講	1・2・3	4		
		人類学研究特講	1・2・3	4		
		比較地域研究特講Ⅰ	2・3	4		
		比較地域研究特講Ⅱ	3	4		
	共通関連 研究	国際文化特講	1・2・3	4		
	研究指導	国際文化特別研究	1・2・3 通	12		12
	合計					84

修了するには以下の要件を満たすことが必要。

- ①本専攻の博士後期課程に3年(優れた業績を上げた者については1年)以上在学すること。
- ②以下の24単位を修得すること。
 - ・「国際文化特別研究」(研究指導) 4単位×3年=12単位 (優れた業績を上げた者については一括認定)
 - ・特殊講義科目6科目群から 4単位×3科目=12単位
- ③博士論文の審査および所定の試験に合格すること。

履修・学位論文について

研究指導 4単位×3年

- ・ 研究特講Ⅰは国際文化専攻2年次以上、研究特講Ⅱは国際文化専攻3年次において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り履修できる。
- ・ 他大学大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特講」として認定する。

科目区分	科目群	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修
特殊講義科目	言語文化研究	語学文学研究特講 I	1・2・3	8	12
		語学文学研究特講 II	2・3	8	
	社会文化研究	歴史地域研究特講 I	1・2・3	8	
		歴史地域研究特講 II	2・3	8	
	共通関連研究	国際文化特講	1・2・3	4	
			1・2・3	4	
研究指導	日本文化特別研究	1・2・3 通	12	12	
合計				48	24

修了するには以下の要件を満たすことが必要。

- ①本専攻の博士後期課程に3年(優れた業績を上げた者については1年)以上在学すること。
- ②以下の24単位を修得すること。
 - ・「日本文化特別研究」(研究指導)
4単位×3年=12単位
(優れた業績を上げた者については一括認定)
 - ・特殊講義科目3科目群から12単位
- ③博士論文の審査および所定の試験に合格すること。

研究指導 4単位×3年

- ・ 研究特講 II は日本文化専攻 2 年次以上において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り履修できる。
- ・ 他大学大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特講」として認定する。

科目区分	科目群	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修
特殊講義科目	日本語学研究	日本語文法研究特講	1・2・3	4	12
		日本語学研究特講	2・3	4	
	日本文学研究	日本中世文学研究特講	1・2・3	4	
		日本近現代文学研究特講	1・2・3	4	
		日本文学研究特講	2・3	4	
	日本歴史研究	日本古代史研究特講	1・2・3	4	
		日本中世史研究特講	1・2・3	4	
		日本近世近代史研究特講	1・2・3	4	
		日本歴史研究特講	2・3	4	
	日本地域研究	日本地域文化研究特講	1・2・3	4	
		日本思想史研究特講	1・2・3	4	
		日本法政治研究特講	1・2・3	4	
		日本地域研究特講	2・3	4	
	共通関連研究	国際文化特講	1・2・3	4	
研究指導	日本文化特別研究	1・2・3 通	12	12	
合計				68	24

修了するには以下の要件を満たすことが必要。

- ①本専攻の博士後期課程に3年(優れた業績を上げた者については1年)以上在学すること。
- ②以下の24単位を修得すること。
 - ・「日本文化特別研究」(研究指導) 4単位×3年=12単位 (優れた業績を上げた者については一括認定)
 - ・特殊講義科目5科目群から4単位×3科目=12単位
- ③博士論文の審査および所定の試験に合格すること。

履修・学位論文について

研究指導 4単位×3年

- ・日本語学研究特講、日本文学研究特講、日本歴史研究特講、日本地域研究特講については日本文化専攻2年次以上において、各自の指導教員の担当する授業科目に限り履修できる。
- ・他大学大学院での履修科目に対して単位を認める場合は、原則的に「国際文化特講」として認定する。

博士後期課程 学位取得までの流れ

大学院国際文化研究科の3つのポリシーについて

愛知県立大学大学院国際文化研究科における3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)は、大学公式ウェブサイトで公開しています。

愛知県立大学トップ>情報公開・提供>3つのポリシー>大学院国際文化研究科の3つのポリシー:

https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/graduate_international_studies.html



研究指導について

研究指導は、時間割上の特定の時間帯では行いません。どのように指導を受けるかは主・副指導教員と相談してください。

1年の4月末までに、主・副指導教員を決定し、「主・副指導教員(変更)報告書」を学務課に提出してください。

「愛知県立大学大学院国際文化研究科履修規程」第4条の2(指導教員は、あらかじめ学生が作成した研究実施計画書に基づいて、単年度ごとに研究指導計画書を所定の様式により作成し、学生に明示するものとする)に基づき、主・副指導教員と相談して、毎年度5月末までに、巻末の様式による「研究指導計画書」を学務課に提出してください。

課程博士号取得に向けて

・申請要件: 査読論文1編+公刊論文(たとえば、本学の研究科論集)2編

*査読論文は、投稿から掲載まで、1年程度かかることに留意して下さい。

*本学の研究科論集について

修士論文審査でS評価かA評価を受け、執筆を許可された博士後期課程の学生に執筆資格があります。毎年7月末までに執筆申込、10月末に論文提出、3月中旬刊行。

・申請時期: 年2回(3月と7月) *審査があるため、取得までに約半年かかります。

3年間で学位を取得するためのタイムスケジュール(目安)

D1: 春~夏 指導教員と相談して投稿する査読雑誌を決定。学会へ入会。

査読論文①を投稿

10月 公刊論文②を提出

秋~ 学会発表

D2: 秋 公刊論文③を提出

~冬 学内の中間報告会で発表

D3: 7月 博士号申請

11~1月 公開審査で発表

3月末 博士号取得

博士論文の評価基準について

博士学位論文は、当該論文がその研究分野において新たに研究史を付け加えられるような高度で独創的な内容を有しているかを審査基準として評価します。

博士後期課程の課程修了と在学について

課程修了要件

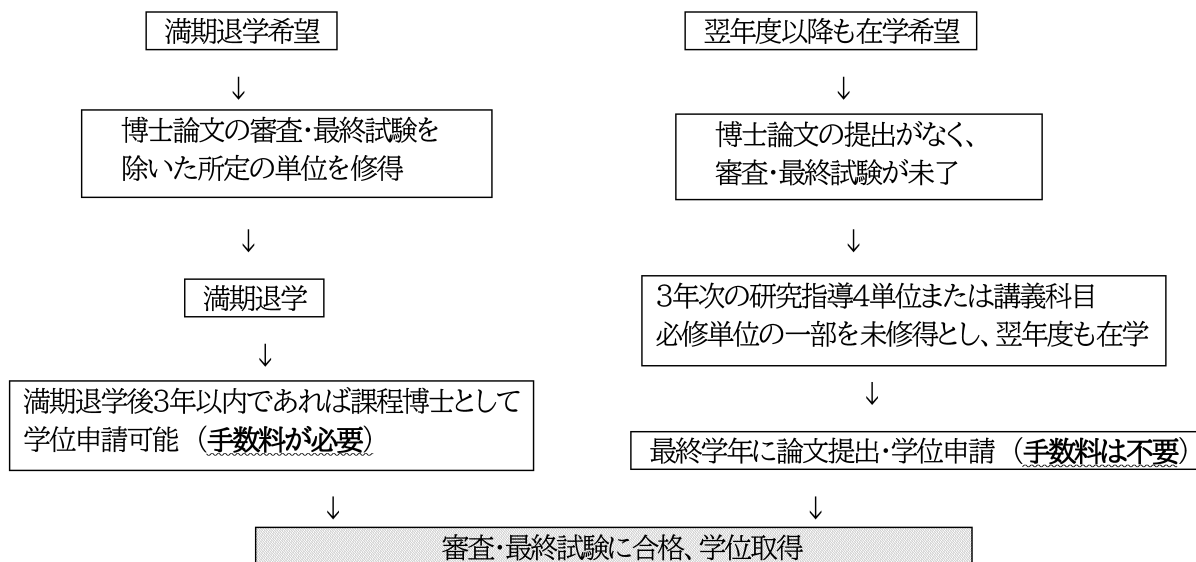
以下の要件をすべて満たすと博士後期課程修了となり、博士学位を取得することができます。

- 1 3年以上の在学(ただし優れた業績を上げた者については1年以上の在学)
- 2 所定の授業科目を履修し、単位を修得
- 3 博士論文の審査及び最終試験に合格

在学期間および単位取得退学について

- 1 博士後期課程に在学できる年限は通算6年(休学期間は含まない)、休学期間の年限は通算3年です。
- 2 博士後期課程に3年間在学した時点で、特殊講義科目12単位と研究指導(国際文化特別研究、日本文化特別研究)12単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格していない者は「満期退学」となります。「退学願」の提出は不要です。
- 3 4年次以降も在学を希望する場合は、上記2の修得単位に関する要件を満たさないことが必要です。
- 4 単位を一部未修得で退学する場合は、「退学願」の提出が必要です。「退学願」に「意見書」(主指導教員が記入)を添えて、以下の期限までに学務課へ提出してください。用紙は UNIPA 各種様式および学務課にあります。
退学願提出期限:(3月31日退学) 2月末日
(9月30日退学) 8月末日
- 5 上記2による退学後3年以内に論文を提出し、審査に合格すれば課程博士の学位を取得することができます。その場合、学位論文審査手数料(57,000円、令和8年4月現在)を納付する必要があります。納付には専用の振込用紙が必要です。学務課へ申し出てください。

〔3年在学中に学位申請をしない場合〕



〔論文提出の時期と在学について〕

- 1 休学中は論文の提出ができません。在学していることが必要です。
- 2 論文を提出した期に所定単位をすべて修得することによって一旦は満期退学となりますが、その後の論文審査・最終試験に合格すれば課程修了となります。不明な点は学務課担当または主指導教員へお尋ねください。

国際文化研究科教員一覧

国際文化専攻

(2026年4月)

研究分野	職名	氏名	専門・専攻領域等	D	M
言語研究	教授	東 弘子	日本語学、社会言語学	主	主
		池田 周	英語教育学、応用言語学	主	主
		石原 覚	英語学、古英語、英語文献学		主
		糸魚川 美樹	スペイン語学、社会言語学、医療通訳研究	副	主
		岸本 聖子	フランス語学、認知言語学、意味論、語用論		副
		熊谷 吉治	英語学、音象徴と音節理論、情報構造と韻律論		主
		櫻井 健	言語学、北欧語学、言語変化・言語接触		副
		月田 尚美	言語学、形態論、台湾原住民諸語	副	主
		長沼 圭一	フランス語学		副
		人見 明宏	ドイツ語学・文法、テキスト言語学、統語論		副
	森田 久司	英語学、言語学、統語論、意味論	主	主	
	准教授	阿部 優子	記述言語学、アフリカ・バントゥ諸語		副
		袁 暁今	語構成論、生成語彙論、日中対照言語学		副
		クレイグ ジョーンズ	第二言語英語教授法		副
		長縄 祐弥	スペイン語学		副
		ベアトリス プリエト ムニョス	外国語としてのスペイン語教育		副
		ジョシュ ブルノティ	英語教育、社会心理学	副	主
		水谷 謙太	英語学、形式意味論、法助動詞、焦点辞、スケール構造	副	主
		楊 明	現代中国語研究、認知言語学		副
	吉田 理加	コミュニティ通訳研究、異文化コミュニケーション、言語人類学		主	
講師	千葉 月香	地域日本語教育、日本語教育学		副	
文学文化研究	教授	梶原 克教	英語圏文化、批評・理論	副	主
		川尻 文彦	中国近代思想	主	主
		平井 守	ドイツ文学、ゲーテ		副
		三原 穂	18世紀英文学、文献学		主
		山本 順子	ドイツ文化、表現主義とダダイズム、知覚変容論		主
	准教授	青木 耕平	アメリカ文学・文化、冷戦体制崩壊以降の文学・文化、21世紀の現代アメリカ小説		副
		小倉 悠輝	アメリカ文学、モダニズム詩・現代詩		副
		瀧内 陽	20世紀英文学、児童文学文化、比較文学文化		主
		田邊 まどか	スペイン文学、16・17世紀の詩と詩論		主
		張 文菁	中国語圏の通俗小説、台湾文学、中国近現代文学	主	主
		ハック フレット アンソニー	映像学、日本と国際メディア文化		副
		原 潮巳	フランス語圏文学・文化		副
		平澤 暢之	フランス語圏文学・文化、19世紀フランス文学 フローベール		副
四ツ谷 亮子	ドイツ文学、現代演劇、舞台芸術論		副		
国際社会研究	教授	奥田 泰広	イギリス政治・外交、国際関係史		主
		奥野 良知	近現代カタルーニャ史・カタルーニャ地域研究		主
		木下 郁夫	国際機構・国際紛争、外交関係		主
		高阪 香津美	ポルトガル語教育、多文化共生	副	主
		今野 元	ヨーロッパ国際政治史、ドイツ政治思想、日独関係史	主	主
	中田 晋自	政治学(フランス都市政治研究)	主	主	
	准教授	杉原 周治	ドイツ法、憲法学、メディア法	主	主
		竹内 徹	国際法		主
		藤田 怜史	アメリカ外交史、アメリカ経済史(戦時経済体制および軍産複合体研究)		副
		町田 花里奈	現代中国政治・外交、中国刑事法学		主
講師	谷川 舜	東アジア近代メディア史、植民地ジャーナリズム、政治とメディア		副	

国際文化専攻(続き)

研究分野	職名	氏名	専門・専攻領域等	D	M
地域社会研究	教授	秋田 貴美子	女性学、日米文化	主	主
		亀井 伸孝	文化人類学、アフリカ地域研究	主	主
		菊池 好行	19・20世紀日英交流論、科学技術史	主	主
		小池 康弘	ラテンアメリカ政治・外交、キューバ研究、国際協力論		主
		佐野 直子	少数言語(オクシタン語)研究、社会言語学	主	主
		竹中 克行	地理学、地中海都市・ランドスケープ研究	主	主
		谷口 智子	宗教学、ラテンアメリカ地域研究	主	主
		西野 真由	中国農業経済、農業労働力研究		副
		半谷 史郎	ロシア研究(特に20世紀のソ連史)	副	主
		久田 由佳子	アメリカ近代史、建国初期～南北戦争前の社会史・家族史・女性史		主
	福岡 千珠	社会学、アイルランド研究		副	
	准教授	池田 利昭	ドイツ中近世都市、ドイツ近世国家、犯罪の社会・文化史		副
		伊藤 滋夫	フランス中世・近世史、財政史研究、公債の研究		副
		佐藤 雅哉	アメリカ現代史		主
		白谷 望	モロッコ政治、中東・北アフリカ地域研究、比較政治学		主
		藤倉 哲郎	東南アジア社会経済論、地域研究(ベトナム)		副
		矢野 順子	東南アジア政治、東南アジア地域研究		副
		渡会 環	ブラジル地域研究		副
	講師	木内 翔	イギリス近代史、キリスト教史		副
		高柳 峻秀	中国近現代史、日中関係史		副

コミュニティ通訳学コース(特任教員)

研究分野	職名	氏名	専門・専攻領域等	D	M
	准教授	グエン タン タム	翻訳・通訳の研究、コミュニティ通訳翻訳、日越言語文化比較		副

日本文化専攻

研究分野	職名	氏名	専門・専攻領域等	D	M
言語研究	教授	福沢 将樹	国語学、日本語テンス・アスペクト、語用論	主	主
	講師	大川 孔明	日本語学、文体論、計量言語学、コーパス言語学		副
文学思想研究	教授	伊藤 伸江	日本中世文学、和歌、連歌、紀行文学、日記・随筆	主	主
		中根 千絵	日本中世文学、説話文学、今昔物語集	主	主
		宮崎 真素美	日本近現代文学、近現代詩	主	主
		若松 伸哉	日本近現代文学	副	主
	准教授	李 澤珍	日本近世文学、書誌学、寓話・寓言	副	主
歴史文化研究	教授	洲脇 武志	漢文学、中国古典学、中国中世の学術	副	主
		本橋 裕美	日本古代文学、物語文学	主	主
	野口 朋隆	歴史学、日本近世史		副	
准教授	丸山 裕美子	日本古代史、日唐比較文化研究	主	主	
	クラマー スベン	日本近現代史、地方行政史		主	
地域文化研究	教授	内記 理	考古学、東西文化交渉史		主
		井戸 聡	社会学、地域・文化・観光・環境	副	主
	准教授	イスマトフ アジズ	比較文化、法と社会		主
		斎藤 慶子	芸術学、比較文化、文化交流史		副
		柴田 陽一	人文地理学、地理思想史	主	主
服部 亜由未	人文地理学、歴史地理学	主	主		

D:博士後期課程 M:博士前期課程 主:主指導担当教員 副:副指導担当教員

学務課からのお知らせ

1 学務課の開室時間

- ・授業開講日 月～金 8時40分から18時15分まで
- ・授業が開講されない日 月～金 8時40分から17時30分まで

2 各証明書の交付

【証明書発行機で発行】

- ・在学証明書(和文・英文)
- ・修了見込証明書(和文・英文)※M2、D3のみ前期履修登録期間修了後、発行可
- ・成績証明書(和文・英文)
- ・健康診断証明書
- ・学生旅客運賃割引証
- ・通学定期乗車券発行控

【窓口で申請】

- ・教免取得見込証明書 ・愛知県立大学卒業学部の成績証明書
- ・在籍証明書(休学者用) など

各種証明書交付願に必要な事項を記載の上、学務課窓口に提出してください。

当日発行はできません。特殊な証明書(英文表記、教免関係など)の発行は10日ほど要しますので、余裕をもって申請してください。

3 学生への伝達(掲示)

【学生への伝達、呼び出し】

ポータルサイト(UNIVERSAL PASSPORT 通称:UNIPA ユニパ)により行います。こまめにログインする、メール転送設定を行うなど、日頃から確認するよう心がけてください。掲示(UNIPA)を見落としたことによる不利益は保障されません。

【休講連絡】

原則として UNIPA で掲示します。

UNIPA ログイン方法

愛知県立大学公式ホームページ > [UNIVERSAL PASSPORT](#)

<https://univ.aichi-pu.ac.jp/uprx/>

「[こちらをクリック](#)」の「[こちら](#)」をクリックし、大学から配付された Microsoft 365 のアカウント情報を入力してください。画面右側のログインフォームは利用しません。

ユーザ ID:p 学籍番号

パスワード:入学時に配布済

メール転送設定方法

個人メールアドレスを UNIPA に登録することにより、大学からの掲示情報を掲示と同時受信することができます。「連絡メールアドレス（メイン用）」と「任意メールアドレス（追加用）」の2種類のアドレスを登録することが可能です。

UNIPA にログインしなくても、当日の休講連絡、学生呼出等、重要な情報がメール受信できますので、ぜひ活用してください。なお、添付ファイルはメールで確認できません。UNIPA にログインして掲示から確認してください。

4 授業概要(シラバス)

UNIPA で閲覧できます。科目名、教員名、曜日時限等で検索できます。

5 論文関係

大学院学則、学位規定、修士論文(等)取扱要綱、博士論文取扱要綱に基づき、所定の期間に所定の書類等を提出します。詳しくは要綱で確認してください。

6 大学院生相談員(教員)

個人的な相談、院生全体に関わる相談や要望などがある場合、事前にメール等で連絡の上、担当教員の研究室を訪ねてください。

2026年度学生相談担当教員

東 弘子(国際文化専攻) 研究室 E712

また指導教員の変更等に関する相談については、指導教員に加えて、教務委員長にも相談可能です。相談先の教務委員長が決まりしだい UNIPA に掲示を出しますので、確認してください。

施設の利用について

I 大学院院生室・大学院実習室(パソコン室)について

1 場所

(1)大学院院生室： G棟 G306～311 (2)大学院実習室(パソコン室)： G棟 G304

2 利用可能時間

8:45～21:00 土日等(年末年始を除く)も使用できます。

3 解錠・施錠について

扉横の電子錠に学生証をかざして解錠します。オートロックのため一時退出する際は、必ず学生証を携帯してください。

4 ロッカーの使用について

- (1)院生室のロッカーを1人1個利用することができます。
- (2)ロッカーは暗証番号式です。各自で暗証番号を設定し、他人に知られないよう厳重に管理してください。
- (3)修了時にはロッカー内の私物をすべて片付け、原状復帰をしてください。
- (4)休学中は原則としてロッカーを使用することができません。
- (5)研究倫理審査を受ける研究など、とくに大量の資料を保管する必要がある場合は、空きロッカーの数に応じて2個目の利用を許可することがあります。該当者は学務課に相談してください。
- (6)暗証番号の紛失など、不測の事態が発生した場合は、学務課で解錠を行いますので、速やかに連絡してください。

5 大学院実習室(パソコン室)でのコンピュータの使用について

- (1)メールは、情報処理教育センターで講習を受け、アカウントの発行を受けた院生が使用できます。
- (2)個人データはハードディスクに残さないでください。(残されている場合、削除する場合がありますので、ご了承ください。)
- (3)無断でソフトをインストールしないでください。
- (4)エチケットを守ってください。
- (5)インターネット利用時のクレジットカードによる決済は禁止します。
- (6)コンピュータのパスワードは学務課窓口にお問い合わせください。
- (7)コピー用紙は節約を心がけてください(裏紙の再利用など)。不要なコピー用紙は適宜、束ねて、G棟3階ごみ箱(給湯室前)横へ出してください。
- (8)プリンタートナー、ドラム等消耗品の交換は各自で行ってください。消耗品の補充は予算内で学務課が行いますので、足りない消耗品等ありましたら、お知らせください。

6 院生室・実習室利用にあたっての注意

- (1)盗難について大学は一切責任を負いません。貴重品は各自で管理してください。

- (2) 許可なく備品等を移動しないでください。
- (3) 禁酒・禁煙。飲食は、後片付けを条件に許可します。
ただし、大学院実習室(パソコン室)は飲食不可。
- (4) 退室するときは電気・空調をOFFにし、窓を施錠してください。
- (5) 部屋を清潔に使用し、ゴミは学内の所定のゴミ箱に捨ててください。各院生室に共同利用の掃除機があります。
- (6) 院生室の机の使用については、学務課で個人に割り当てていますが、必要に応じて院生同士の話し合いで決めてください。
- (7) 休学中は、私物を置かないでください。
- (8) 不適切な使用があった場合は、院生全体に制限及び禁止の措置をとることがあります。
- (9) 院生室、パソコン室、コピー室へ院生以外の部外者を無断で入れることは、ほかの院生の迷惑となりますので、慎んでください。
- (10) 休業日及び21:00以降の建物への出入り口は、H棟(東)の西出入口の1か所のみとなります。扉横の電子錠に学生証をかざして解錠をしてください。退出時は、錠を回しながら扉を開けてください。
- (11) 休業日等は暖房等の空調は入りません。暖をとる場合は一切火気を使用せず、衣服やカイロ等で対応してください。

II コピー機の使用について

1 場所 印刷室 G404

2 利用可能時間、解錠・施錠について

使用時間	解錠・施錠	備 考
8:45~17:30	学生証で解錠・施錠	輪転印刷機は使用禁止

3 コピーカードについて

- (1) 入学時、コピーカードを各自に渡します。毀損、紛失の場合は、始末書の提出及び実費負担となる場合があります。
- (2) 使用枚数は、ひとり年間2,000枚とします。3月末で区切り、次年度への繰越はありません。毎月UNIPAにて使用枚数をお知らせします。枚数上限に達した場合はカードを回収します。

4 その他

- (1) 印刷室内のコピー機以外の備品（輪転印刷機等）の使用は原則として認めません。教員から依頼があった場合のみ使用できますが、必ず、学務課国際文化研究科担当者に連絡してから使用してください。
- (2) 印刷室内の備品、消耗品(印刷用紙)は、室外に持ち出さないでください。
- (3) 不適切な使用があった場合は、院生全体に制限及び禁止の措置をとります。

施設の利用は、院生自治に任されています。お互い気持ちよく利用しましょう。
利用方法等で不明な点がございましたら、学務課までお問い合わせください。

愛知県立大学大学院 国際文化研究科 博士前期課程

_____ 年度 研究指導計画書

学籍番号：

氏名：

(国際文化専攻 / 日本文化専攻)

主指導教員：

副指導教員：

1 学位取得に向けた研究計画 (学生が記入 年次ごとの計画を明記すること)

2 今年度の研究計画 (学生が記入)

3 今年度の研究指導計画 (教員が記入)

愛知県立大学大学院 国際文化研究科 博士後期課程

_____ 年度 研究指導計画書

学籍番号：

氏名：

(国際文化専攻 / 日本文化専攻)

主指導教員：

副指導教員：

1 学位取得に向けた研究計画 (学生が記入 年次ごとの計画を明記すること)

2 今年度の研究計画 (学生が記入)

3 今年度の研究指導計画 (教員が記入)